

# 機関投資家様向け会社説明会

2016年11月28日

山口フィナンシャルグループ 代表取締役 吉村 猛



# 平成28年度中間期の業績概要

# 平成28年度中間決算の概要(グループ連結)

(億円)		H27年度 中間期	H28年度 中間期	前年 同期比	H28年度 通期予想
経常収益	1	821	846	24	1,560
コア業務粗利益	2	542	498	▲ 43	
資金利益	3	464	434	▲ 29	
役務取引等利益	4	84	77	▲ 7	
その他業務利益	5	▲ 6	▲ 13	▲ 7	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	394	399	4	
コア業務純益	7	148	99	▲ 48	
臨時損益	8	85	88	3	
うち株式等関係損益	9	56	73	16	
経常利益	10	259	251	▲ 8	430
親会社株主に帰属する中間純利益	11	174	169	▲ 4	285
与信関係費用(△)	12	▲ 14	▲ 27	▲ 13	

※単位未満は切捨て表示。

## 決算概要

- ・経常利益は251億円となり、前年同期比▲8億円となりました。
- ・親会社に帰属する中間純利益は169億円となり、前年同期比▲4億円となりました。

## 連単差

3行合算中間純利益	183億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△24億円
FG連結調整等	10億円
YMFG連結中間純利益	169億円

# 平成28年度中間決算の概要(3行合算)

(億円)		H27年度 中間期	H28年度 中間期	前年 同期比	H28年度 通期予想
経常収益	1	746	751	5	1,400
コア業務粗利益	2	518	463	▲ 55	
資金利益	3	478	436	▲ 42	
役務取引等利益	4	62	57	▲ 4	
その他業務利益	5	▲ 22	▲ 30	▲ 8	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	350	354	3	
コア業務純益	7	168	109	▲ 59	
臨時損益	8	65	68	2	
うち株式等関係損益	9	56	73	16	
経常利益	10	282	262	▲ 20	420
当期純利益	11	204	183	▲ 20	285
与信関係費用(△)	12	▲ 14	▲ 27	▲ 12	

※単位未満は切捨て表示。

## 決算概要

- ・経常利益は262億円となり、前年同期比▲20億円となりました。
- ・当期純利益は183億円となり、前年同期比▲20億円となりました。

## 資金利益

単位:億円

3行合算	H28/9	前年同期比
資金利益	436	▲ 42
預貸金収支	343	▲ 9
貸出金利息	370	▲ 16
預金利息	26	▲ 6
有価証券利息	96	▲ 24
投信解約益	23	▲ 8
その他	▲ 4	▲ 8

# 平成28年度中間決算の概要(山口銀行)

(億円)

		H27年度 中間期	H28年度 中間期	H28年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	433	393	▲ 40	740
業務粗利益	2	305	299	▲ 6	
資金利益	3	259	235	▲ 24	
役務取引等利益	4	39	35	▲ 4	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	6 (29)	28 (58)	22 (28)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	166	168	1	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	▲ 6	-	6	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	139	130	▲ 8	
コア業務純益	9	109	72	▲ 36	
臨時損益	10	38	▲ 5	▲ 44	
うち株式等関係損益	11	33	4	▲ 29	
うち不良債権処理額(△)	12	6	0	▲ 6	
うち貸倒引当金戻入益	13	-	5	5	
うち償却債権取立益	14	0	0	0	
経常利益	15	184	125	▲ 58	235
特別損益	16	12	▲ 0	▲ 12	
税引前中間純利益	17	196	125	▲ 71	
中間純利益	18	132	86	▲ 45	160
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	0	▲ 4	▲ 5	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## 決算概要

- ・経常利益は125億円となり、前年同期比▲58億円となりました。
- ・中間純利益は86億円となり、前年同期比▲45億円となりました。

## 資金利益

単位:億円

山口銀行	H28/9	前年同期比
資金利益	235	▲ 24
預貸金収支	178	▲ 4
貸出金利息	194	▲ 10
預金利息	15	▲ 5
有価証券利息	59	▲ 12
投信解約益	10	▲ 8
その他	▲ 3	▲ 7

# 平成28年度中間決算の概要(もみじ銀行)

(億円)

		H27年度 中間期	H28年度 中間期	H28年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	259	308	48	520
業務粗利益	2	185	171	▲ 13	
資金利益	3	168	149	▲ 19	
役務取引等利益	4	18	19	0	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	▲ 2 (▲ 2)	2 (5)	5 (7)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	137	138	1	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	48	33	▲ 14	
コア業務純益	9	50	28	▲ 22	
臨時損益	10	36	81	44	
うち株式等関係損益	11	19	67	48	
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	▲ 0	
うち貸倒引当金戻入益	13	16	10	▲ 5	
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0	
経常利益	15	84	114	30	155
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	▲ 0	
税引前中間純利益	17	84	113	29	
中間純利益	18	63	81	18	105
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 15	▲ 9	5	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## 決算概要

- ・経常利益は114億円となり、前年同期比+30億円となりました。
- ・中間純利益は81億円となり、前年同期比+18億円となりました。

## 資金利益

単位:億円

もみじ銀行	H28/9	前年同期比
資金利益	149	▲ 19
預貸金収支	115	▲ 6
貸出金利息	123	▲ 6
預金利息	7	▲ 0
有価証券利息	34	▲ 11
投信解約益	13	0
その他	▲ 1	▲ 1

# 平成28年度中間決算の概要(北九州銀行)

(億円)

		H27年度 中間期	H28年度 中間期	H28年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	70	78	8	140
業務粗利益	2	55	55	0	
資金利益	3	50	52	1	
役務取引等利益	4	3	3	▲ 0	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	0 (0)	0 (0)	▲ 0 (0)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	46	47	0	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	8	8	0	
コア業務純益	9	8	8	0	
臨時損益	10	5	14	8	
うち株式等関係損益	11	3	1	▲ 2	
うち不良債権処理額(△)	12	0	▲ 0	▲ 0	
うち貸倒引当金戻入益	13	0	12	12	
うち償却債権取立益	14	-	-	-	
経常利益	15	14	22	8	30
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	▲ 0	
税引前中間純利益	17	14	22	8	
中間純利益	18	9	15	6	20
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	0	▲ 12	▲ 12	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## 決算概要

- ・経常利益は22億円となり、前年同期比+8億円となりました。
- ・中間純利益は15億円となり、前年同期比+6億円となりました。

## 資金利益

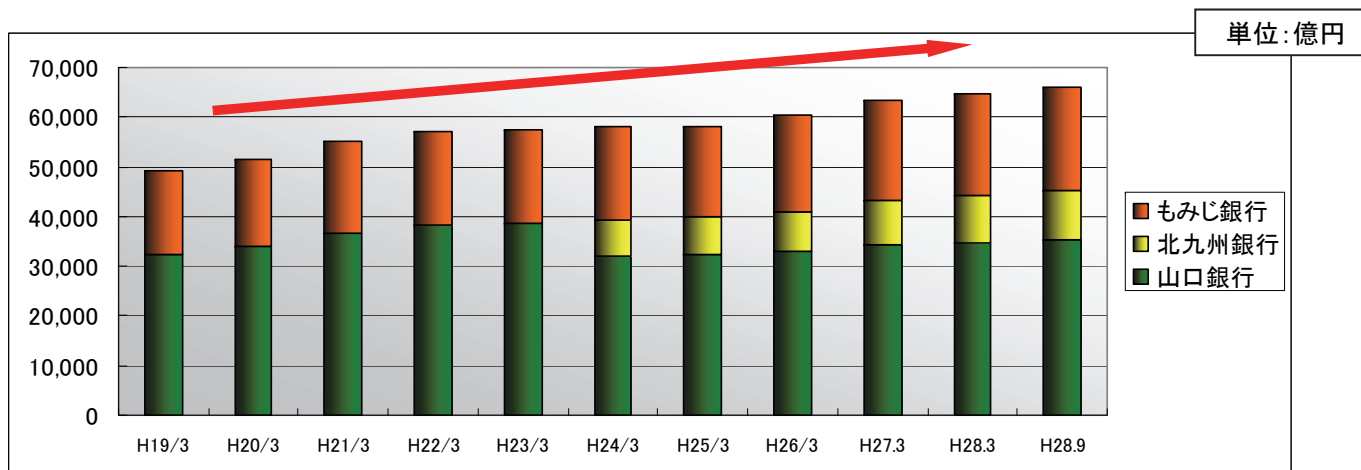
単位:億円

北九州銀行	H28/9	前年同期比
資金利益	52	1
預貸金収支	49	1
貸出金利息	53	0
預金利息	3	▲ 0
有価証券利息	2	0
投信解約益	0	0
その他	0	▲ 0

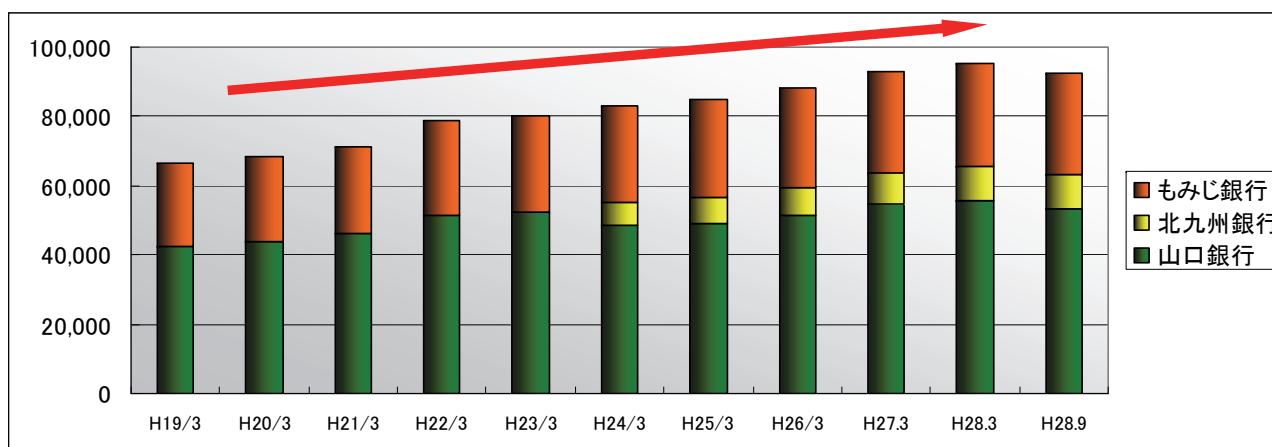
# 預貸金の状況

- ▶ 山口フィナンシャルグループ設立以降、預貸金は順調に増加。
- ▶ 設立10年で、貸出金は約1.5兆円、預金は約3兆円の増加。

貸出金  
(未残)



預金  
(未残)



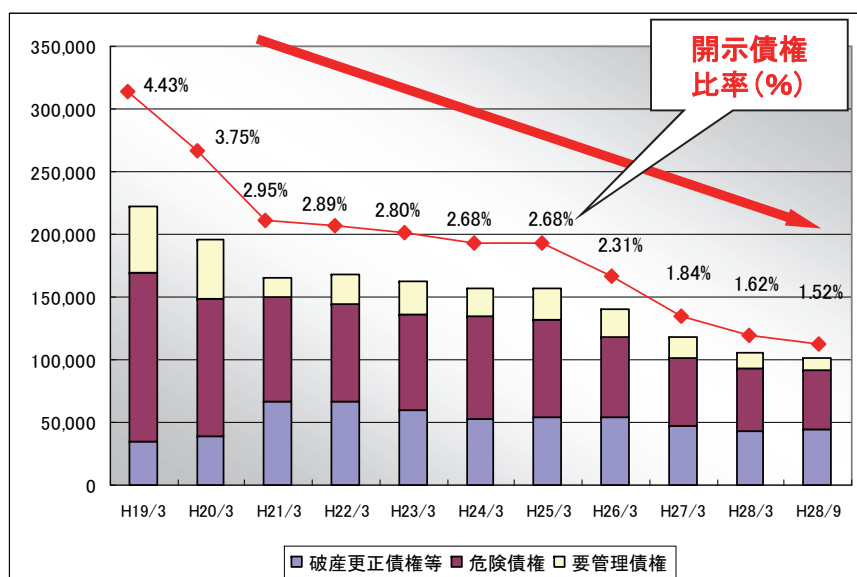


# 不良債権の状況

▶ 金融再生法開示債権残高は年次減少、同比率も遞減傾向。

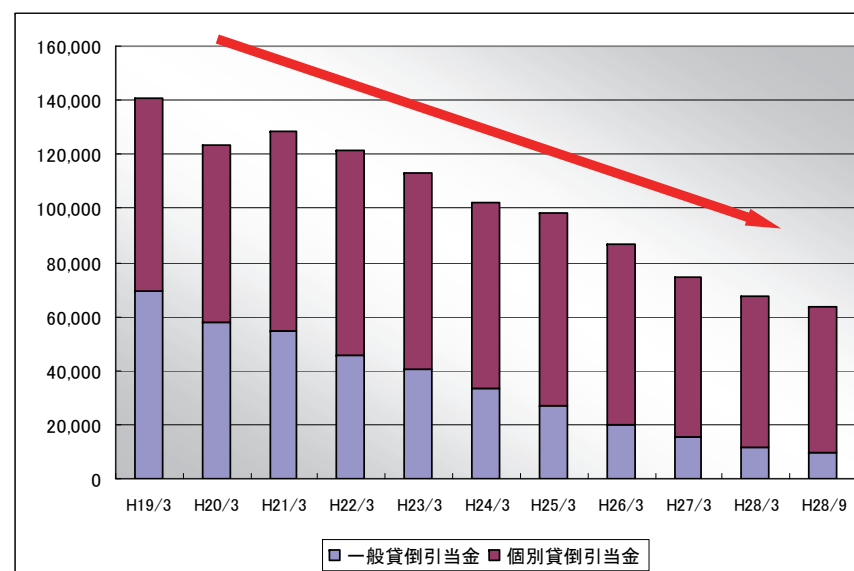
## 金融再生法開示債権残高（3行合算）

百万円



## 貸倒引当金の状況

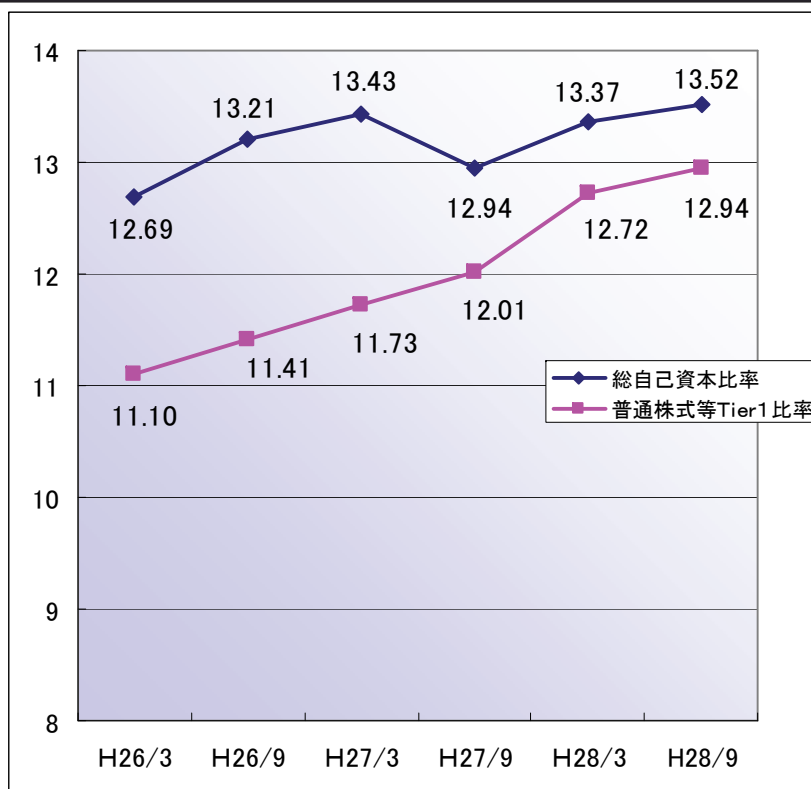
百万円



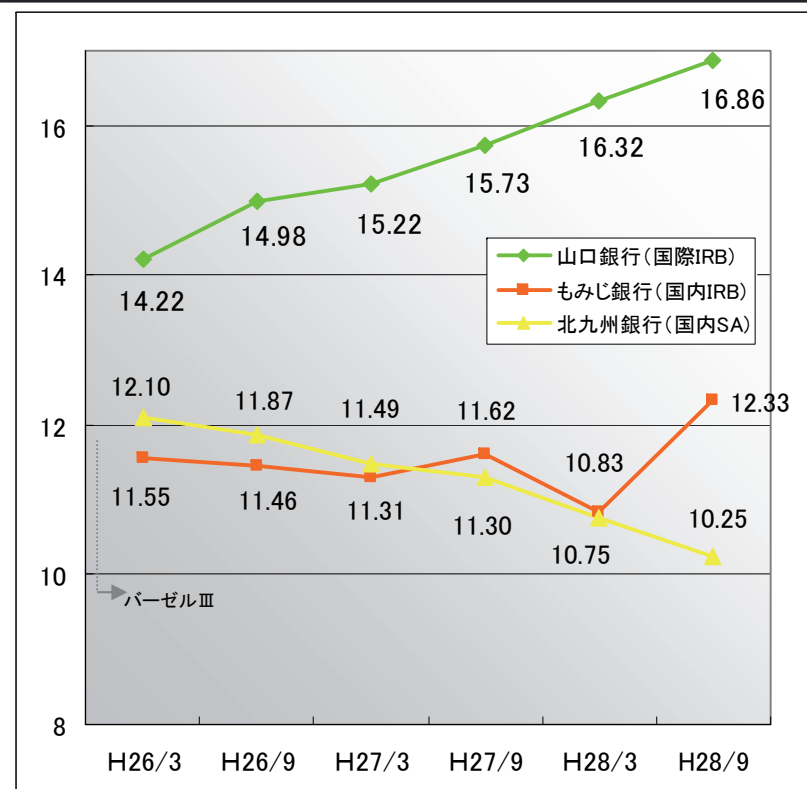
# 自己資本比率の推移

- ▶ 山口FG連結で、平成28年9月末 13.52% (総自己資本比率)、12.94% (普通株式等Tier1比率) の実績。
- ▶ 山口銀行(単) 16.86% (前年同期比+1.13%)、もみじ銀行(単) 12.33% (前年同期比+0.71%)、北九州銀行(単) 10.25% (前年同期比▲1.05%)。

山口フィナンシャルグループ連結

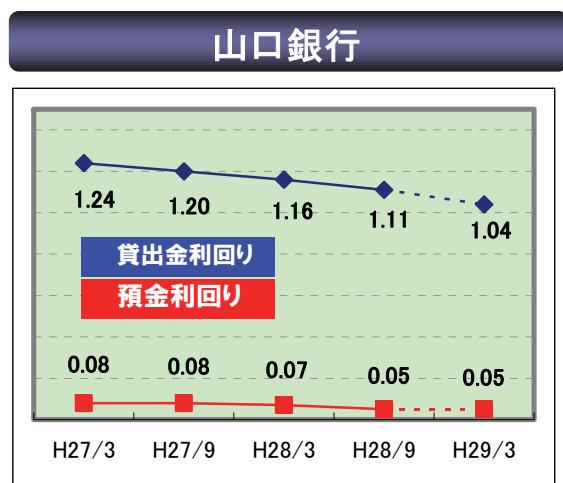


グループ3行の自己資本比率



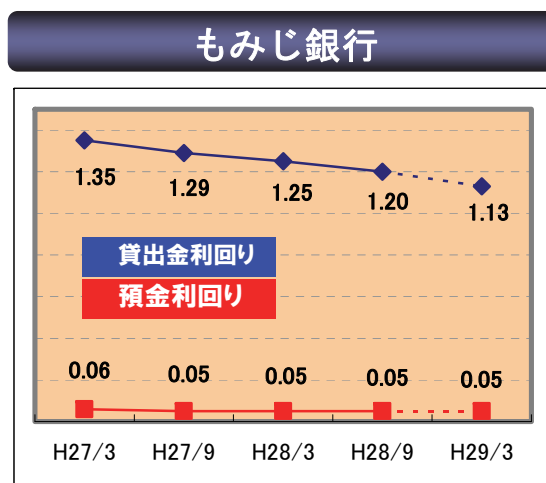
# 預貸金利回りの状況

▶ 貸出金利回りはマイナス金利の影響もあり、グループ3行にて前年同期比▲0.09～0.10%。



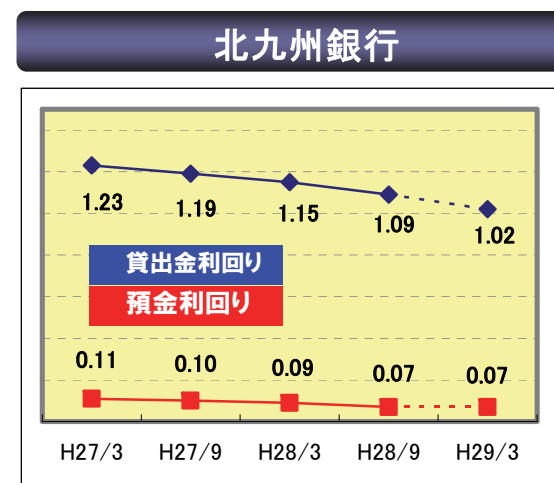
(%)

	H27/9	H28/9	前年比
貸出金利回	1.20	1.11	▲ 0.09
預金等利回	0.08	0.05	▲ 0.03



(%)

	H27/9	H28/9	前年比
貸出金利回	1.29	1.20	▲ 0.09
預金等利回	0.05	0.05	▲ 0.00



(%)

	H27/9	H28/9	前年比
貸出金利回	1.19	1.09	▲ 0.10
預金等利回	0.10	0.07	▲ 0.03

(ご参考:貸出金利息額)北九州銀行は前年比プラスで利回り低下をボリュームでカバー。

単位:億円

	H27/9	H28/9	前年比
貸出金利息	204	194	▲ 10

単位:億円

	H27/9	H28/9	前年比
貸出金利息	129	123	▲ 6

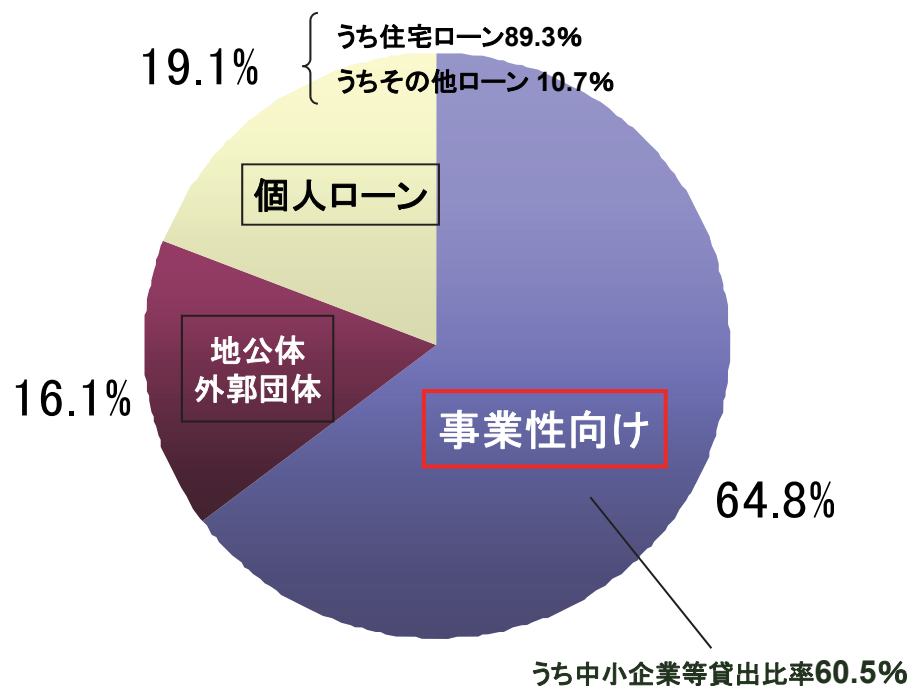
単位:億円

	H27/9	H28/9	前年比
貸出金利息	52	53	▲ 1

# 貸出金ポートフォリオ

- ▶ 事業性向け(法人・個人事業主)貸出が全体ポートの64.8%。
- ▶ 内訳については、大企業向け貸出が減少し、中小企業向け貸出が増加基調。

貸出ポートフォリオ(3行合算)



貸出金内訳(3行合算)

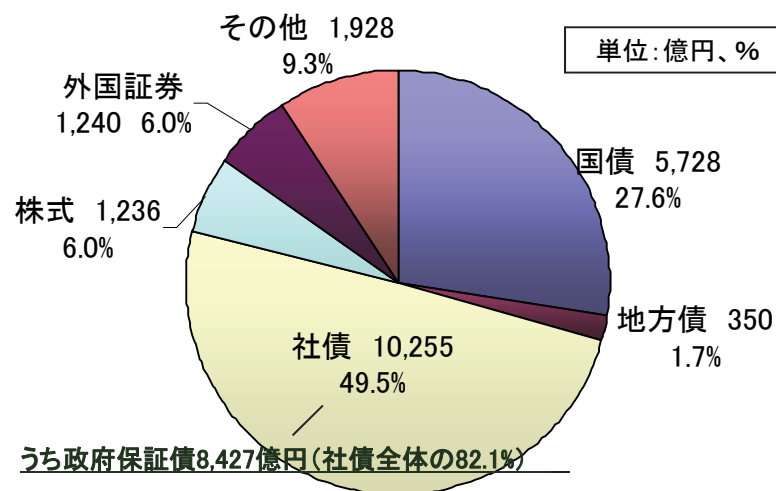
	H28/9期		
	実績(国内店)	前年比	年率
総貸出金	65,752	2,124	3.3
一般貸出金	42,635	655	1.6
大企業	14,762	△ 178	△ 1.2
中堅企業	2,068	△ 26	△ 1.3
中小企業等	25,805	859	3.4
地公体	10,431	584	5.9
外郭団体	131	△ 23	△ 15.1
個人ローン	12,556	908	7.8

※実績は国内店勘定

# 有価証券ポートフォリオ

▶ 有価証券運用については、相場動向に応じ、機動的な売買により売却益を確保していく。

## 有価証券ポートフォリオ（3行合算）



単位: 億円

	27/9末	28/9末	前年同期比
国債	6,308	5,728	▲ 580
地方債	277	350	▲ 73
社債	11,046	10,255	▲ 791
うち政保債	8,691	8,427	▲ 264
株式	1,403	1,236	▲ 167
外国証券	1,250	1,240	▲ 10
その他	1,435	1,928	▲ 493
計	21,721	20,739	▲ 982

## 保有債券デュレーション（年）

	H26/9	H27/3	H27/9	H28/3	H28/9	H27/9比
山口銀行						
国内債	4.50	4.31	4.49	4.72	4.72	0.23
外国債	4.34	5.36	4.67	4.45	4.58	▲ 0.09
もみじ銀行						
国内債	4.03	3.63	3.81	4.15	5.00	1.19
外国債	2.68	2.67	2.22	2.94	3.77	1.55
北九州銀行						
国内債	9.98	9.61	9.46	8.19	7.81	▲ 1.65
外国債	-	-	-	-	-	-

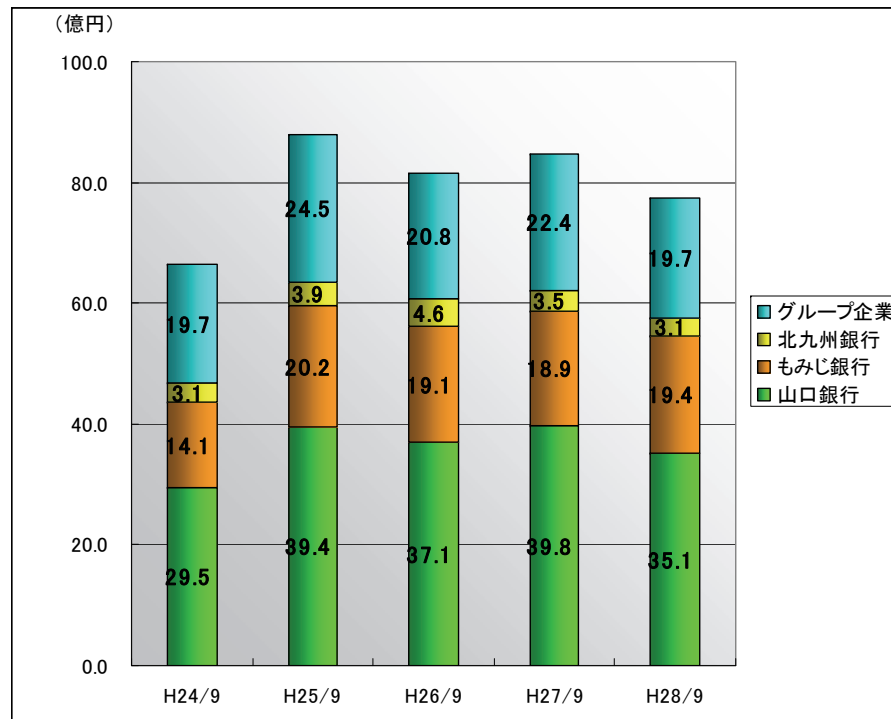
## 有価証券評価損益（平成28年9月期：億円）

	山口	もみじ	北九州	3行計	H27/9比
株式	441	26	106	573	▲ 123
債券	200	61	5	267	90
その他	▲ 108	▲ 80	-	▲ 189	▲ 94
合計	533	7	111	652	▲ 126

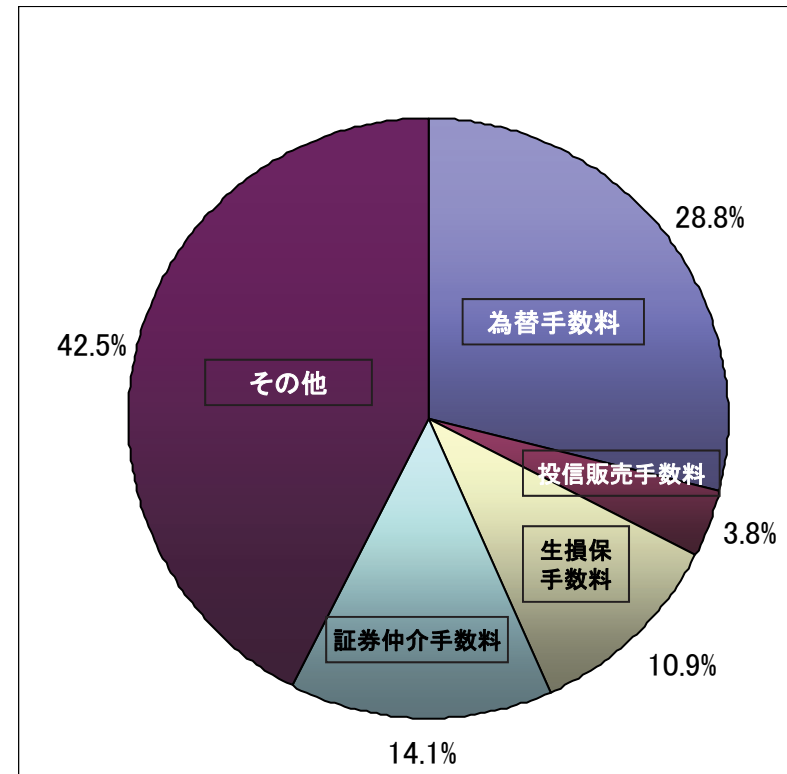
# 役務収益の状況

- ▶ グループ全体の役務取引等利益は77億円と前年同期比▲7億円。
- ▶ FP事業の強化により、投信販売手数料および生損保窓販手数料の増強を図る。

役務取引等利益の推移（グループ連結）



役務収益の内訳（3行合算）



# 平成28年度業績予想について

# 平成28年度決算見込み(グループ連結)

マイナス金利の影響が想定以上に大きく、通期見通しを下方修正

	平成28年度 (当初計画)	平成28年度 (修正見通し)	当初計画比
コア業務粗利益	1,092億円	973億円	▲119億円
資金利益	874億円	826億円	▲48億円
うち預貸金収支	697億円	673億円	▲24億円
役務取引等利益	193億円	172億円	▲21億円
コア業務純益	316億円	200億円	▲116億円
経常利益	500億円	430億円	▲70億円
親会社に帰属する 当期純利益	330億円	285億円	▲45億円
1株当たり配当	18円	18円	±0円
貸出金平残(3行合算)	65,805億円	65,500億円	▲305億円
貸出金利回り	1.13%	1.10%	▲0.03%
<b>(ご参考)</b>			
3M Tibor(平均)	0.10%	0.06%	▲0.04%
10年国債(平均)	▲0.05%	▲0.10%	▲0.05%
日経平均株価(平均)	17,500円	17,000円	▲500円

◆マイナス金利政策の影響等により、貸出  
金利息中心に当初計画を下回り、資金利益  
は当初計画比▲48億円。

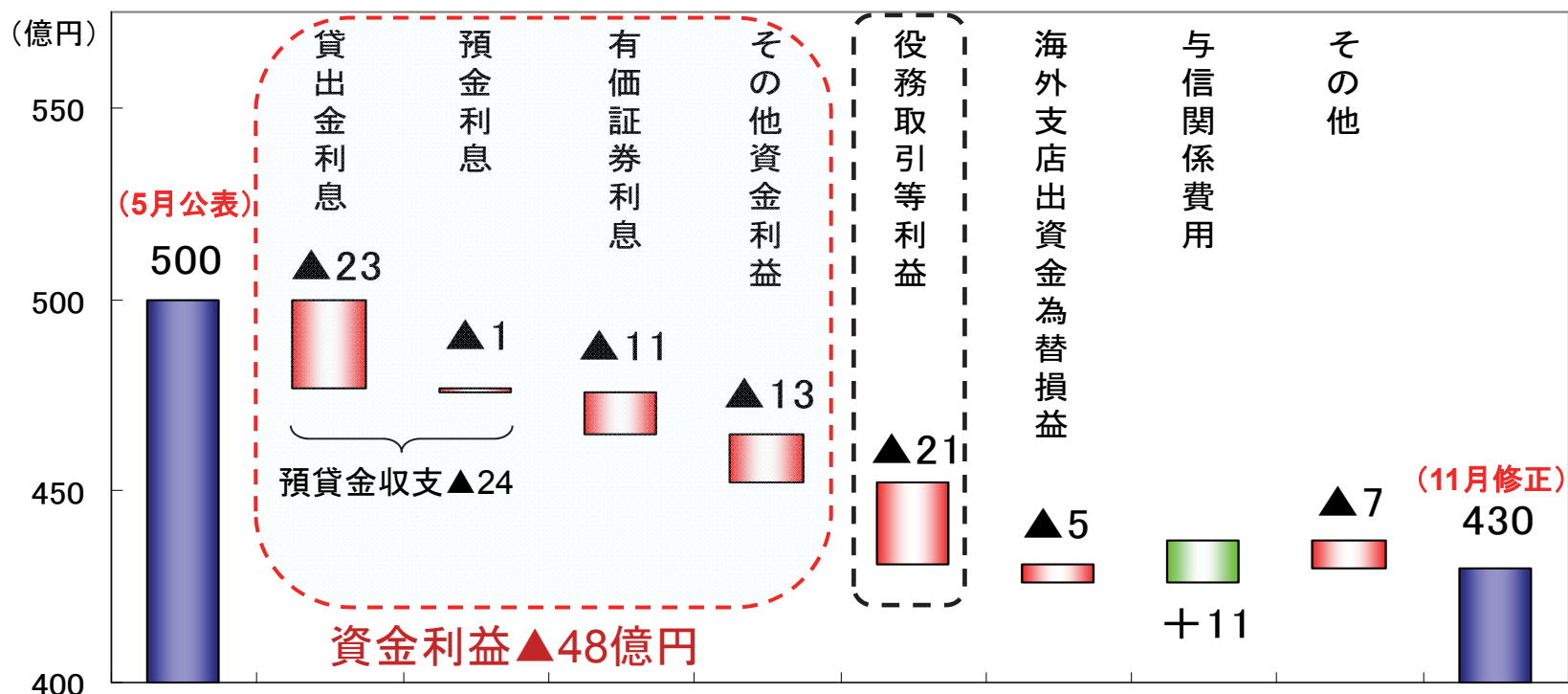
◆銀行での投信窓販再開の立ち上がり遅延  
等により、役務取引等利益は当初計画比  
▲21億円。

詳細は次ページ

◆1株当たりの配当は、昨年度から3円増配  
の18円を見込む(うち記念増配2円)。



# 平成28年度当初計画比増減要因(経常利益ベース)



	マイナス金利の影響 (当初想定)	平成28年度 (当初計画)	下方修正要因		平成28年度 (修正見通し)
			当初想定を超える マイナス金利の影響	その他の要因	
資金利益(①+②+③)	▲35億円	874億円	▲48億円	▲25億円	826億円
①預貸金収支	▲29億円	697億円	▲24億円	▲20億円	673億円
②有価証券利息	▲6億円	180億円	▲11億円	▲2億円	169億円
③その他資金利益	0億円	▲2億円	▲13億円	▲3億円	▲15億円

マイナス金利の影響: ▲60億円

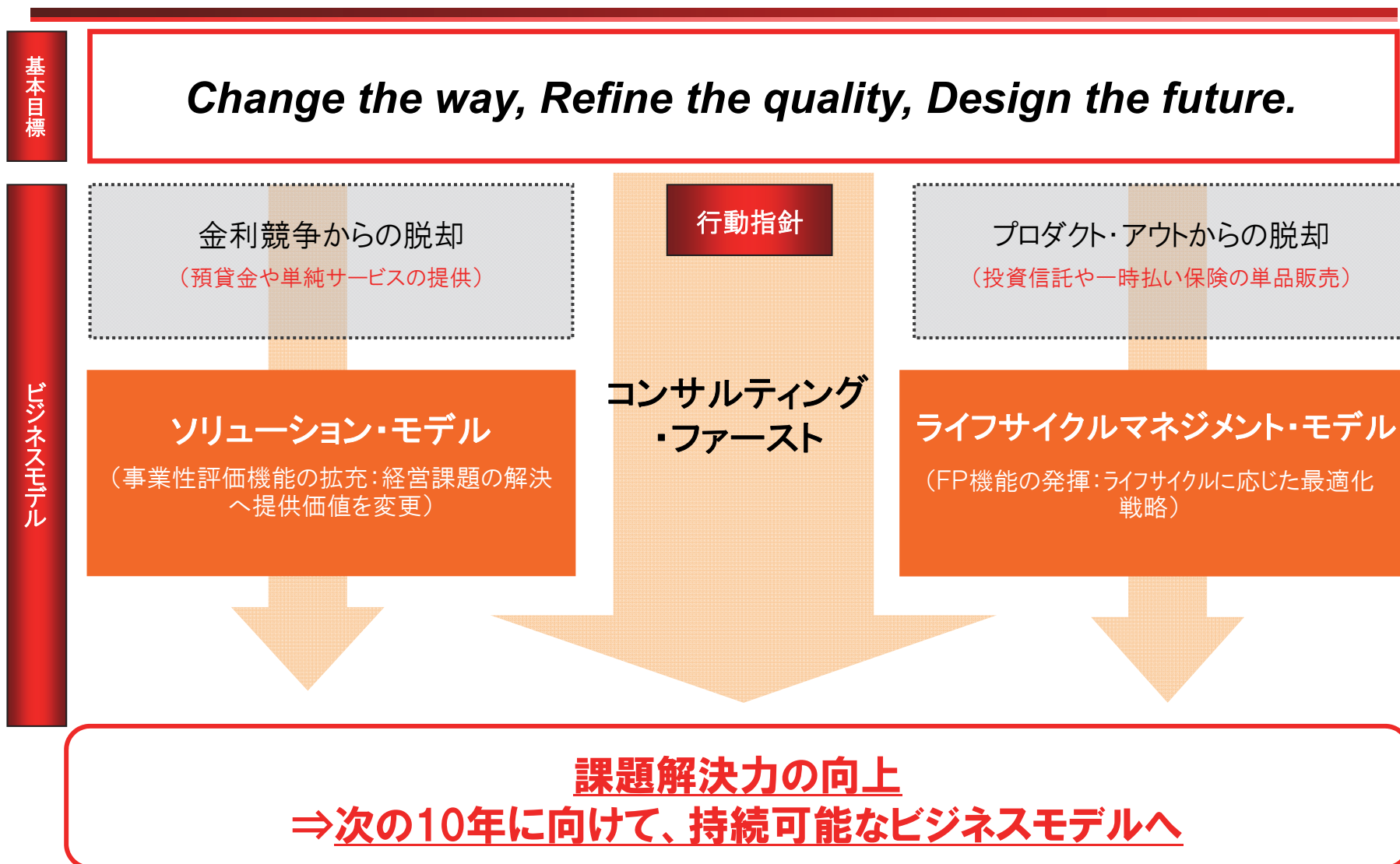
## 平成28年度決算見込み(3銀行)

- ・当初想定を超える貸出金利回りの低下により、各行ともコア業務粗利益を下方修正。
- ・もみじ銀行は、株式等売却益の増加から経常利益ベースでは増益を見込む。

	山口銀行			もみじ銀行			北九州銀行		
	平成28年度 (当初計画)	平成28年度 (修正見通し)	当初計画比	平成28年度 (当初計画)	平成28年度 (修正見通し)	当初計画比	平成28年度 (当初計画)	平成28年度 (修正見通し)	当初計画比
コア業務粗利益	546億円	470億円	▲76億円	344億円	311億円	▲33億円	116億円	112億円	▲4億円
コア業務純益	214億円	138億円	▲77億円	71億円	38億円	▲34億円	21億円	19億円	▲2億円
経常利益	320億円	235億円	▲85億円	140億円	155億円	+15億円	30億円	30億円	±0億円
当期純利益	220億円	160億円	▲60億円	95億円	105億円	+10億円	20億円	20億円	±0億円
貸出金平残	35,339億円	35,000億円	▲339億円	20,729億円	20,600億円	▲129億円	9,735億円	9,900億円	+165億円
貸出金利回り	1.10%	1.08%	▲0.02%	1.22%	1.17%	▲0.05%	1.12%	1.06%	▲0.06%

# 今後の成長戦略について

# YMFG中期経営計画の全体像



# 成長軌道回帰に向けて(ソリューション・モデル)

事業性評価態勢の強化を行い、収益力の早期改善を図る。

## <現在の取組内容>

- ・事業性評価部(分室)による現場で与信判断する態勢を構築
- ・産業調査レポートによるコンサルティング機能の強化
- ・ソリューション提案件数を業績評価項目に導入
- ・地域の中核企業向けの事業性評価診断の開始
- ・企業診断力養成講座(研修)による目利き力向上

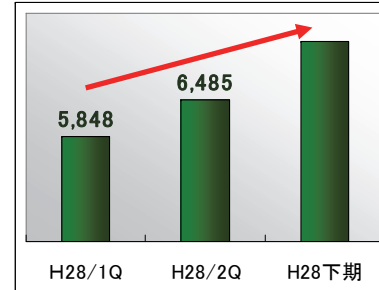
## ⇒今後重点を置く施策

- ・顧客セグメントに応じた営業体制の最適化
- ・コンサルティングを起点としたソリューション・モデルの収益性向上(コンサルティングツールの強化、新商品投入、人材育成等)

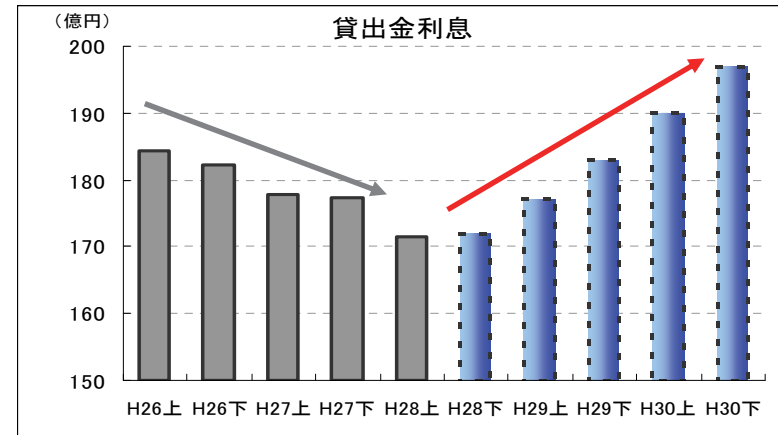
## ●コンサルティングへの行動改革

コンサルティングへの行動改革はソリューション提案数という形で着実に向上しており、**収益の源泉**となるソリューション提案は引き続き活発化させていく。

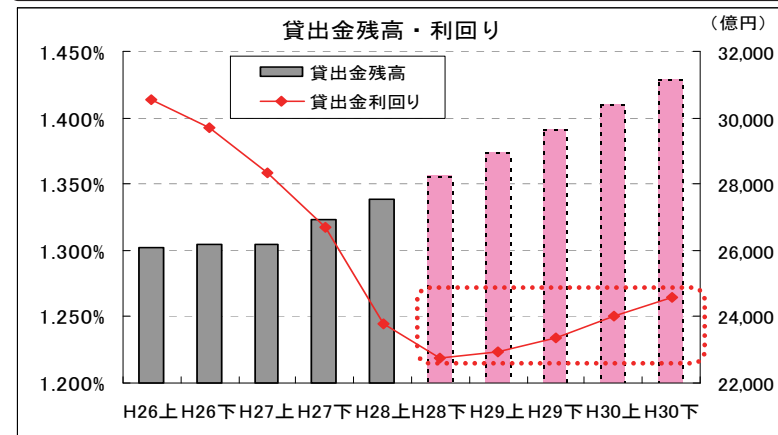
### ソリューション提案件数(3行合算)



## 中堅・中小企業向け融資の利息収益(3行合算)



## 中堅・中小企業向け融資の残高・利回り(3行合算)

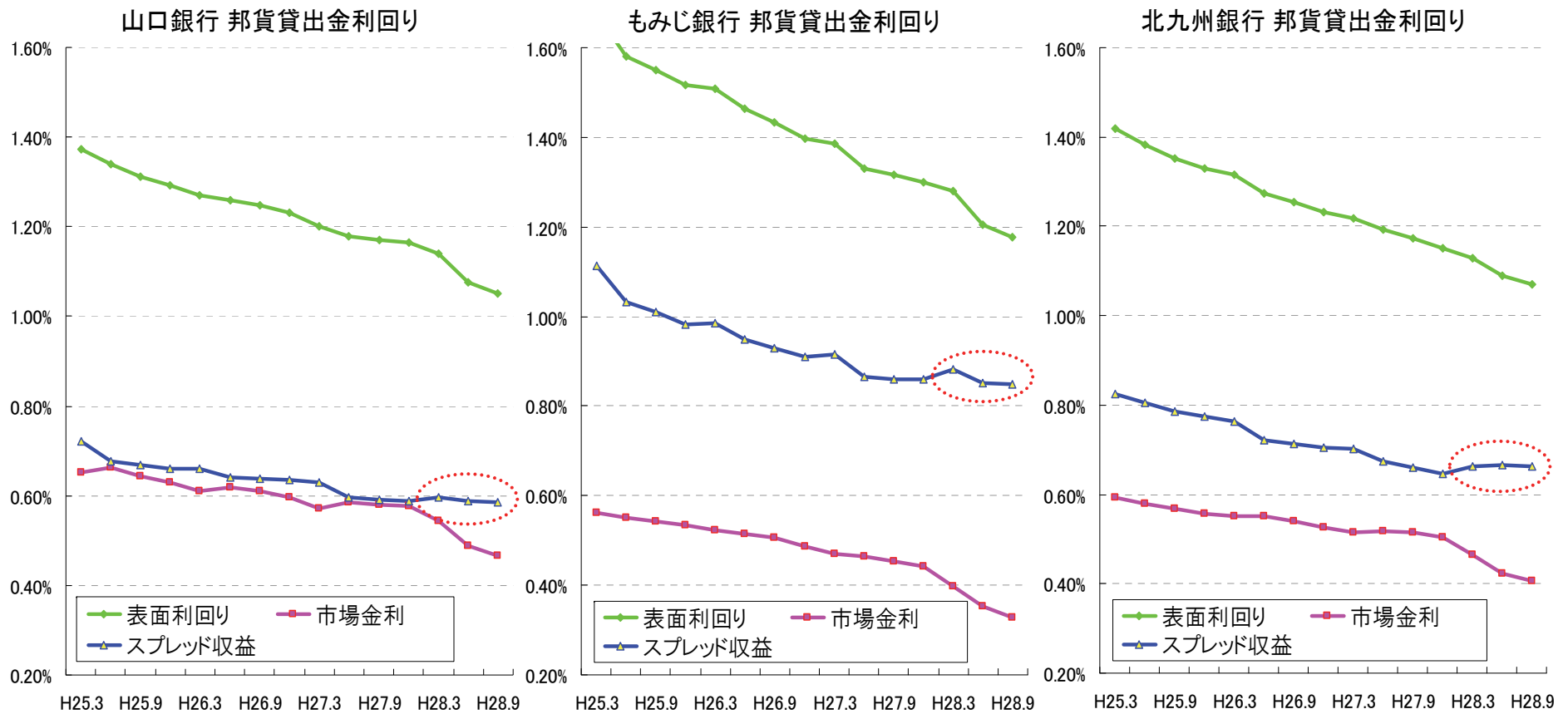


※中小企業...個人事業主向け非事業性融資を除く

# 貸出金利回り(邦貨)の推移について

- ▶ マイナス金利導入の影響から貸出金利回りの低下に歯止めはかかっていない。
- ▶ 市場金利は依然として低下しているものの、スプレッド収益部分については下げ止まりの兆し。

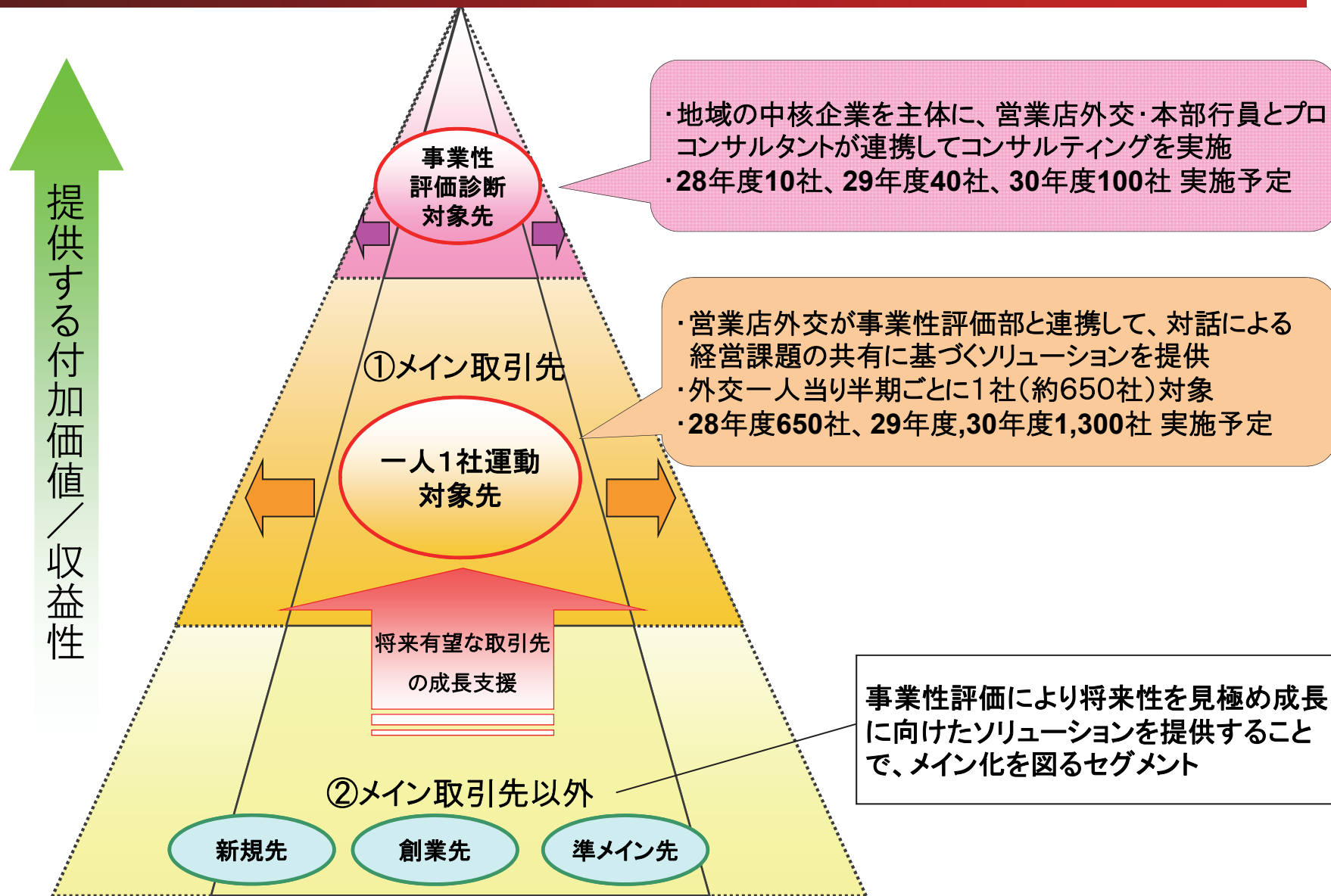
\* 表面利回りを市場金利とスプレッド収益に分解(H25.3以降の推移)



※邦貨貸出利回りは約定金利ベース

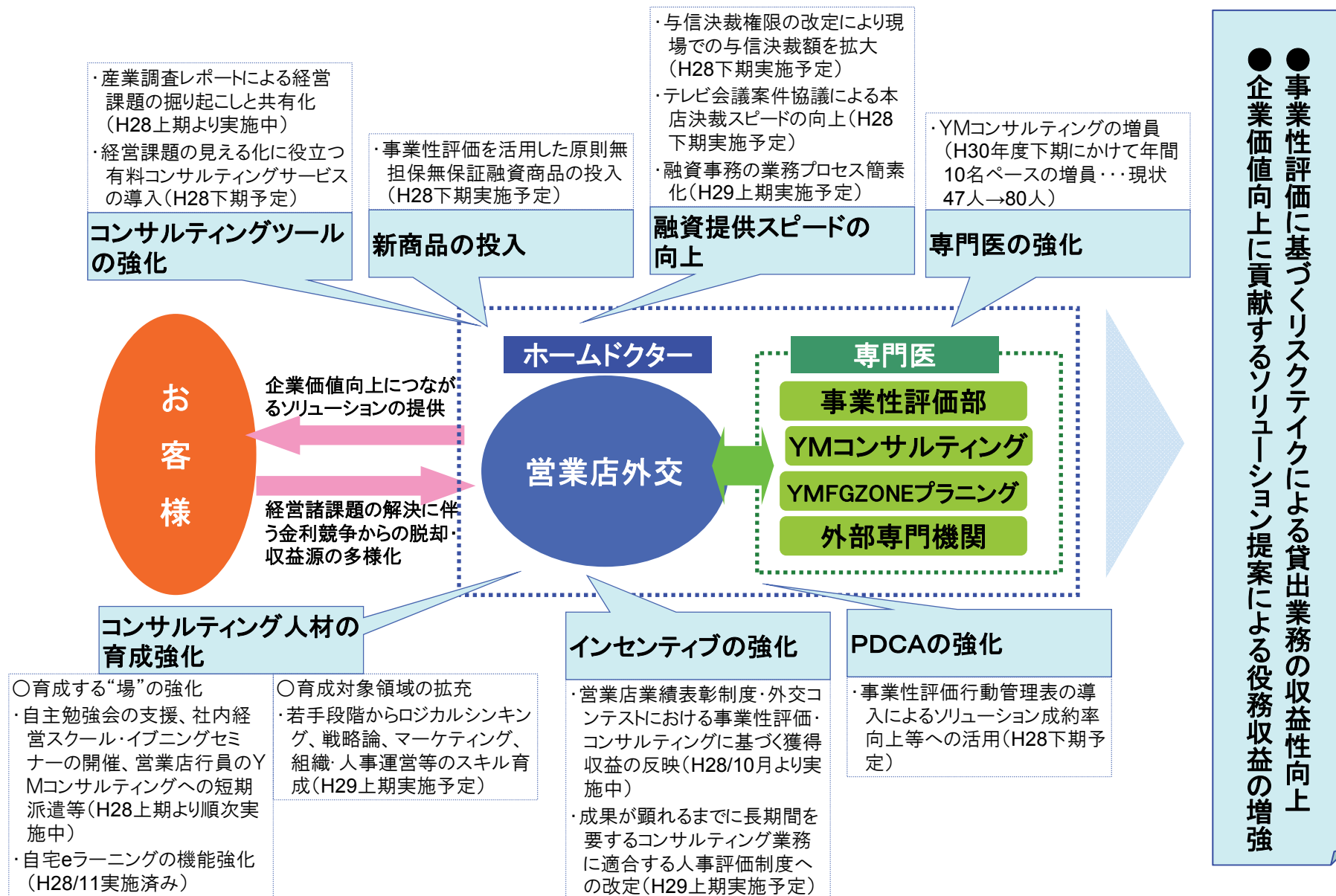
# 顧客セグメントに応じた営業体制の最適化

セグメントに応じた事業性評価を通じて、企業の成長支援と当社の収益化を実現する



# コンサルティングを起点としたソリューション・モデルの収益性向上

総合的・有機的な諸施策によりソリューション・モデルの収益性向上を加速する





# 成長軌道回帰に向けて(ライフサイクルマネジメント・モデル)

ビジネスモデル構築に向けた組織体制整備・販売態勢強化を進める。

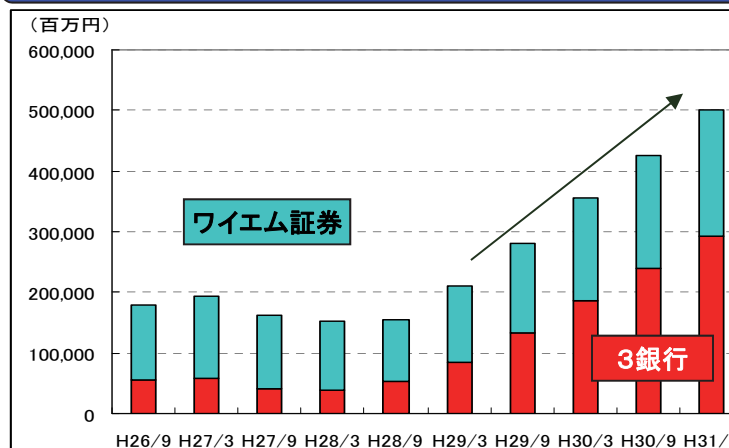
## <現在の取組内容>

- ・アセットマネジメント会社(YMAM)設立、ノーロード投信を供給
- ・ライフプランニング専門会社(YMLP)設立
- ・「保険ひろば」買収による店舗チャネルの拡大
- ・投信の銀行窓販を8年ぶりに本格再開
- ・銀行の資産運用担当者を大幅に増員(+88人)
- ・投信窓販情報システム(顧客カルテ)の導入
- ・支店長、販売担当者向け資産運用研修の実施(計150回)

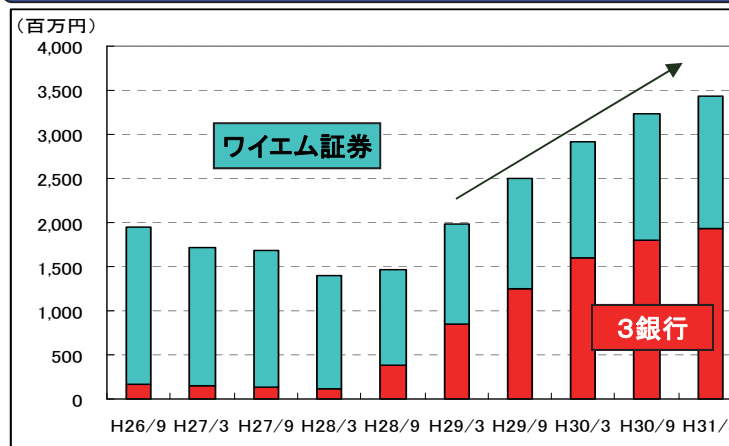
## ⇒今後重点を置く施策

- ・投資信託の販売態勢強化(資産運用担当+内部行員)
- ・ライフプランニングの事業化  
(「保険ひろば+」「保険ひろば」チャネル活用による金融商品販売)
- ・新営業店端末導入による顧客接点の増加  
(対話型窓口受付サービスの導入)

## グループ投信残高推移(銀行+証券)



## グループ投信手数料推移(銀行+証券)

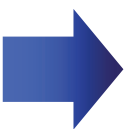


# 投資信託にかかる販売態勢強化について(3銀行)

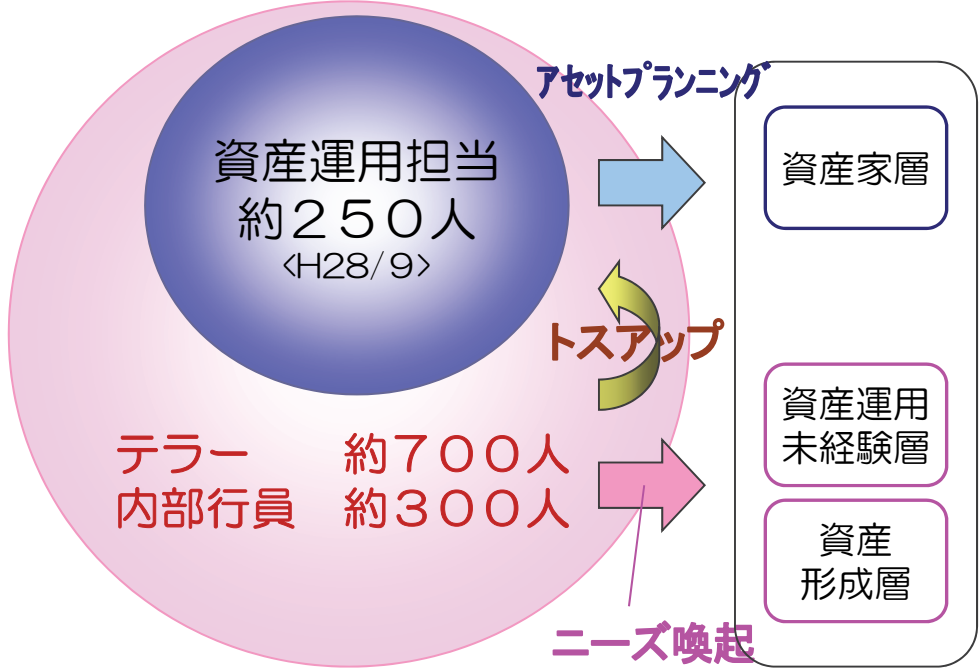
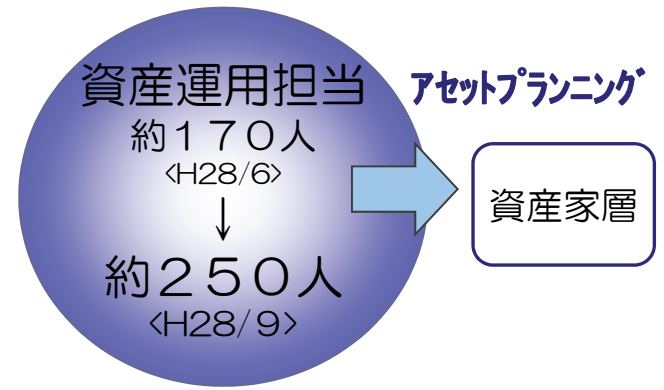
テラー・内部行員が提案できる体制を整備し、幅広い顧客にアプローチ

~平成28年上期 → 平成28年下期~

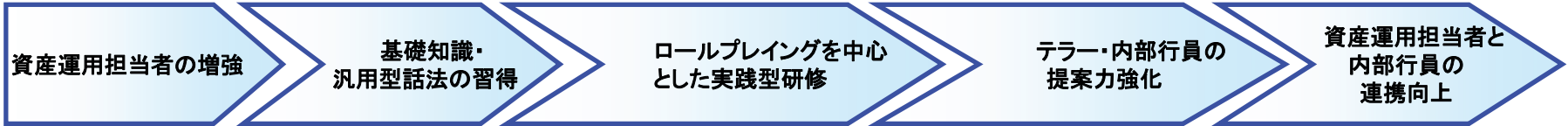
資産運用担当者による資産家層  
への個別アプローチ



販売窓口の拡大により、幅広い層への  
アプローチ (個別+ニーズ喚起)

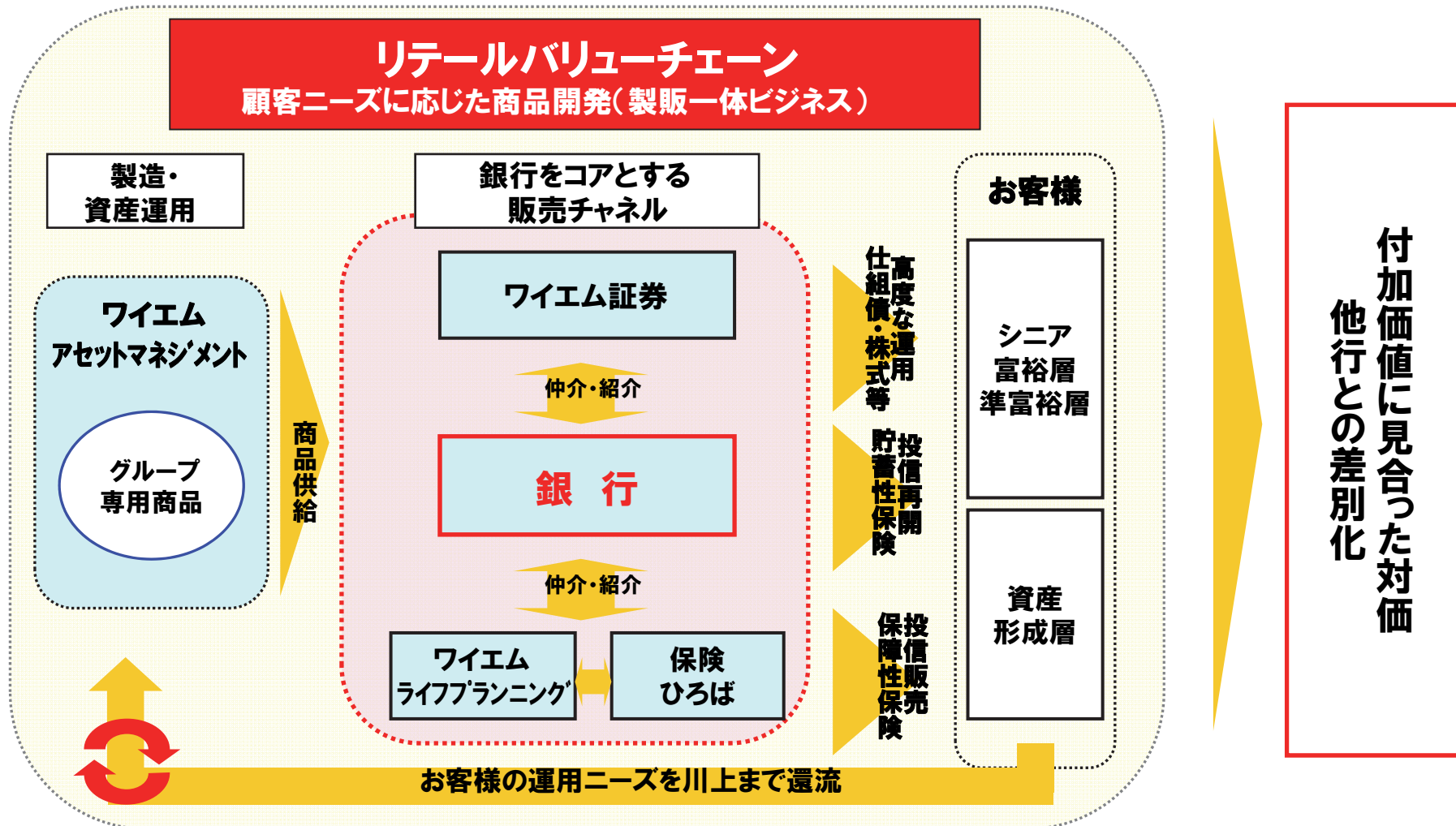


## 育成フェーズ



# ライフサイクルマネジメント・モデル(FP機能の発揮)

ライフサイクル・資産規模に応じた最適な商品・サービスを提供できる体制



# ライフプランニングの事業化

保険ひろばの買収により、ライフプランニングを基点とした金融商品のクロスセルを加速化

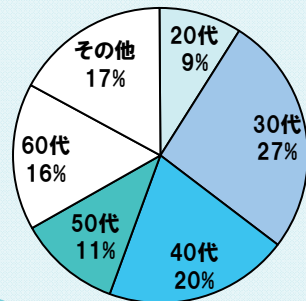
## ■(株)保険ひろば買収の意義

- ✓ ショッピングセンターを中心に拠出する店舗網の獲得 ⇒ 現状接点の薄い資産形成層へのリーチ
- ✓ 売上規模約20億円、約8万世帯の顧客基盤の獲得 ⇒ 50代以下の顧客の囲い込みによる長期的な収益拡大
- ✓ YMFGのブランド・商品供給によるシナジーの発揮 ⇒ 一生涯相談いただける総合金融窓口へ

### ライフプランニングチャンネル

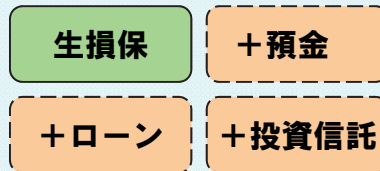


保険ひろばの顧客層は銀行で接点の薄い50代以下が中心  
→ライフプランニングが有効



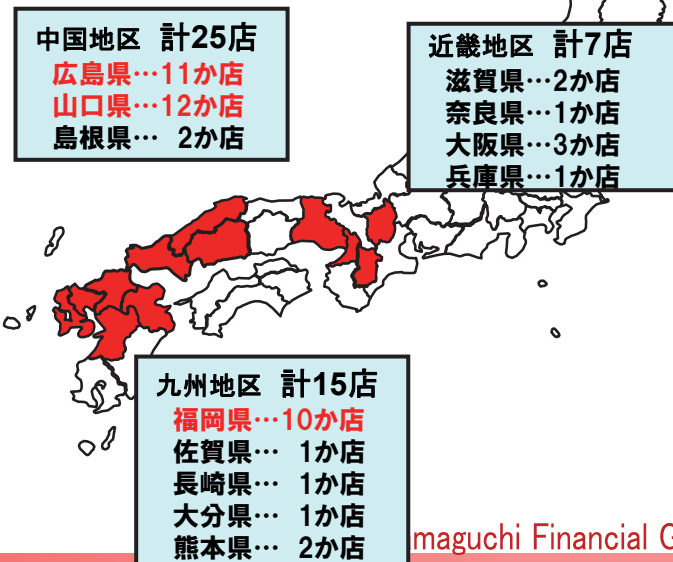
両ブランドともライフプランニングを通じた資産・負債の総合コンサルを提供していく

### 総合金融窓口化



グループの金融商品販売の増加によるシナジーの発揮

「保険ひろば」46店舗  
「保険ひろば+」1店舗(株)ワイエムライフプランニング)  
計47店舗



maguchi Financial Group

# 店頭窓口の改革(新営業店システムの導入)

「コンサルティングファースト」を実現する施策の一環として、  
店頭の徹底したIT化により顧客接点の拡大および生産性向上を図る。

PBIによる  
印鑑レス・  
ペーパーレス

**国内金融機関初**  
生体情報(指静脈)を活用し、  
署名・捺印に代替。  
⇒利便性とセキュリティ強化を実現

指静脈認証 (PBI※)



※ Public Biometrics Infrastructure  
テンプレート公開型生体認証

さらに、**全てのATMに**  
PBIを搭載し、**指だけで**  
取引が可能にすることで、  
更なる利便性向上  
を実現予定。

対話型カウンター  
による  
伝票記入レス

ディスプレイへのタッチ入力により、  
伝票や書類レスを図り、利便性の  
向上と手続きの迅速化を実現

対話型窓口受付サービス



お客さまとのコミュニケ  
ーション増加(収益機会  
増大)、事務コストの削  
減を図る。

# 地方創生に向けた取り組み

山口フィナンシャルグループは地域の需要創出をはかる活動に注力しています

## 創業支援をサポート

女性創業応援やまぐち



・女性創業応援やまぐちでは、独自の高級酒を開発した女性創業者を始め、**6件の新規開業**につながっています。

クラウドファンディング



・クラウドファンディングにより、これまで**11件のファンド**が成立しています。

## ロボサポート山口

ROBO Support Center  
やまぐちロボサポートセンター



・山口銀行や山口県内企業の出資により、最先端のロボットを活用した歩行トレーニング施設を運営する会社を設立。

・ロボット技術に関連した新サービスを創り出し、**県内における雇用創出、地域活性化へ繋がります。**

## YMFG ZONE プランニング

岩国市、株式会社山口銀行及び株式会社 YMFG ZONE プランニングとの地方一帯に係る包括連携に関する協定締結



YMFGゾーンの地方自治体と地方創生に係る包括連携協定を締結し、地方創生に向けた実行支援を実施

【締結済の自治体】  
山口県内8市町、大分県中津市

産業・観光振興策・町の活性化など、多岐分野の事業を自治体等から受託し、自治体と一体となって地域の課題解決に取り組んでいます。

【受託している自治体等(関与含む)】

経済産業省、山口県、広島県、北九州市、山口県内7市町、広島県内1町

【主な受託実績】

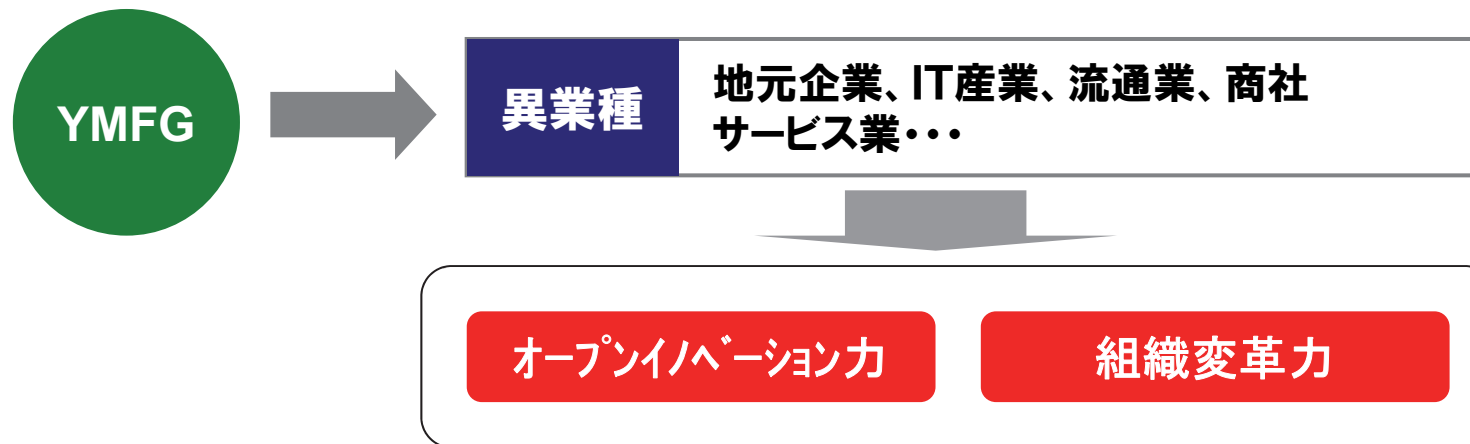
- ・企業誘致関連事業
- ・工業用水関連事業
- ・県産品の売込強化、地域商社関連事業
- ・加工品開発体制整備関連事業
- ・CCRC関連事業
- ・DMO関連事業
- ・PFI関連事業
- ・RESAS普及促進関連事業
- ・創業支援関連事業
- ・イノベーション関連事業
- ・道の駅活性化関連事業
- ・人材還流関連事業
- ・観光地活性化関連事業 など



Yamaguchi Financial Group

# 問題解決型人材の育成(次世代のビジネスを構築)

## ●異業種への出向者派遣積極化(3年間)



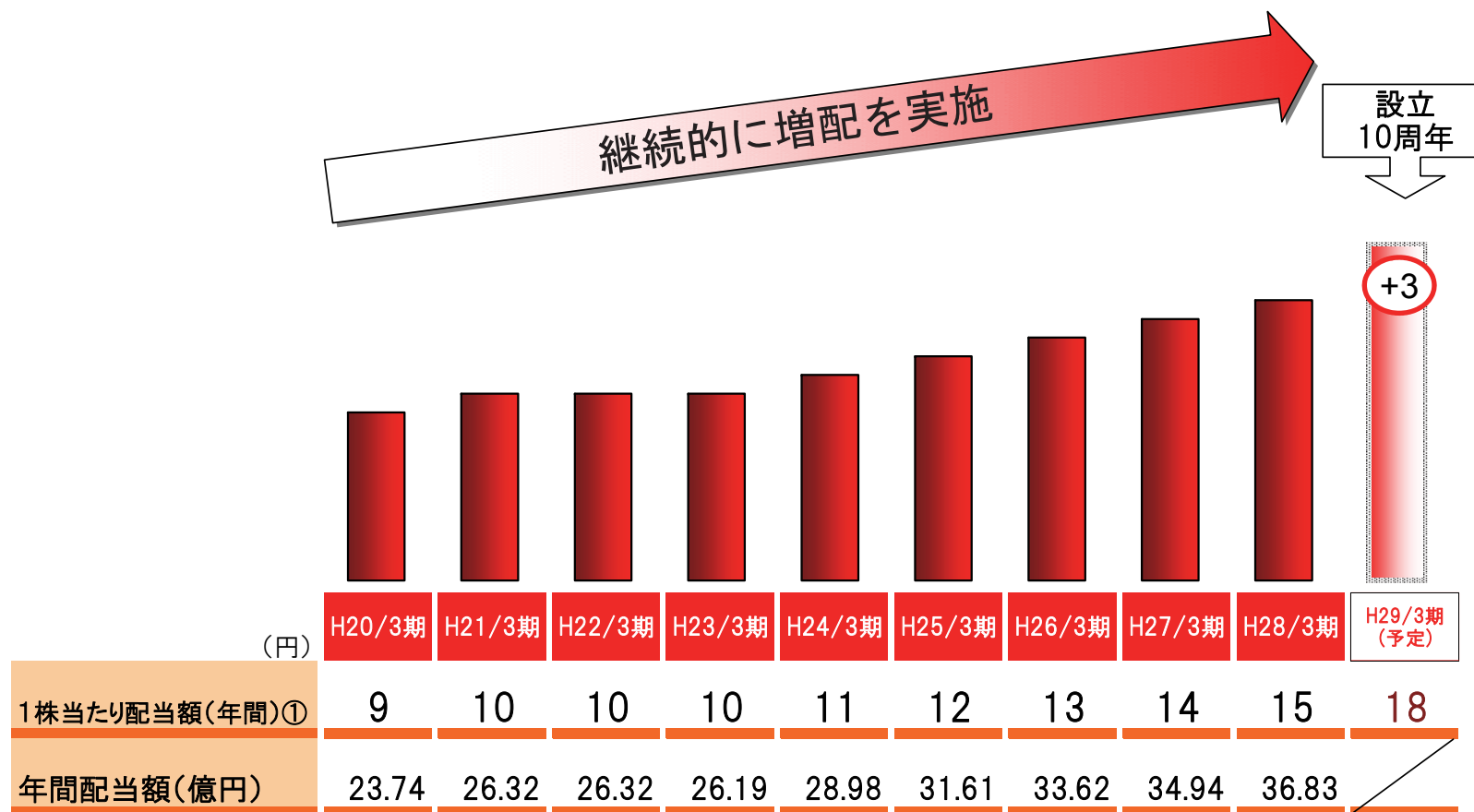
## ●新規事業企画専門の部署を設置

次世代の収益の柱を企画⇒軸はFintechと地域振興



# 配当について

- ・中長期的な安定配当を基本とした株主還元を実施していく。
- ・FG設立以来、継続的に増配を実施。平成29年3月期は3円増配を予定。





# 参考資料編

# YMFG中期経営計画(FY28~30)の位置づけ

## 現状認識

### <内部環境>

- ・預貸金収支の縮小  
(収益構造として有価証券割合増)

### <外部環境>

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・貯蓄から投資の流れ
- ・相続、資産承継ニーズ増加

### <組織>

- ・柔軟性、スピード感の重要性が増している

### <人材>

- ・コンサルティング人材の不足
- ・専門人材の戦略的配置が不十分

## YMFG中期経営計画

### 目指すべき姿

○地域を育み、ともに成長する金融グループ

~Road to “YMFG ZONE” ~

○圧倒的な品質でお客様の期待を超える金融グループ

~Amazing “YMFG Quality” ~

### 基本目標

*Change the way, Refine the quality, Design the future.*

(やり方を変えよう、質に磨きをかけよう、そして未来をデザインしよう)

○金利競争からの脱却

○プロダクト・アウトからの脱却

### 行動指針

**コンサルティング・ファースト**

~全てのお客様に対し、まずコンサルティングから入る。  
(コンサルティング・ファースト)を徹底する。

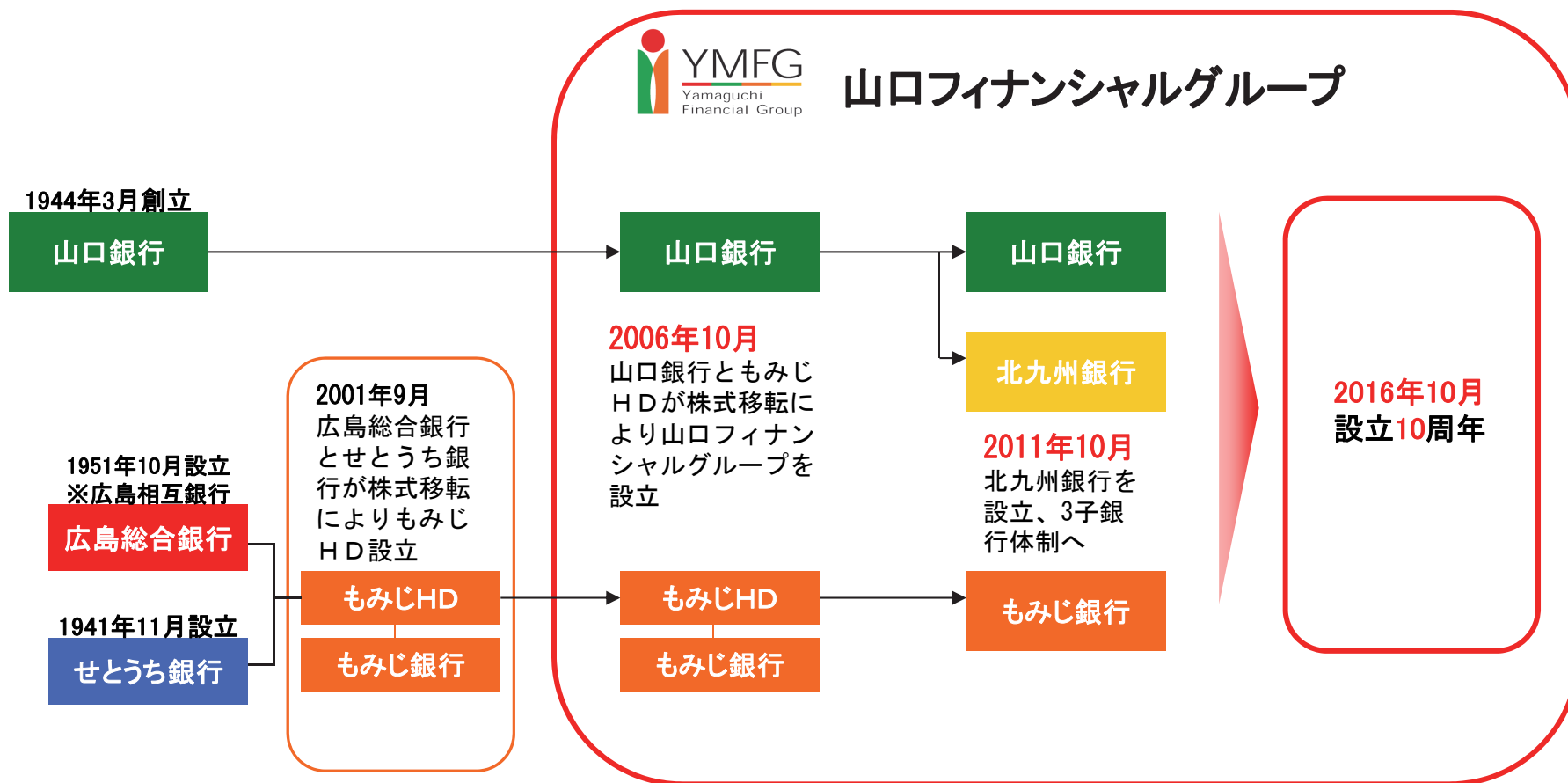
- ・市場環境に左右されにくい持続可能な成長モデルの確立

- ・地域の金融グループとして、地域の成長にコミットし地方創生に主導的役割

- ・高いコンサルティング意識と専門性を持った人材の育成と適切配置

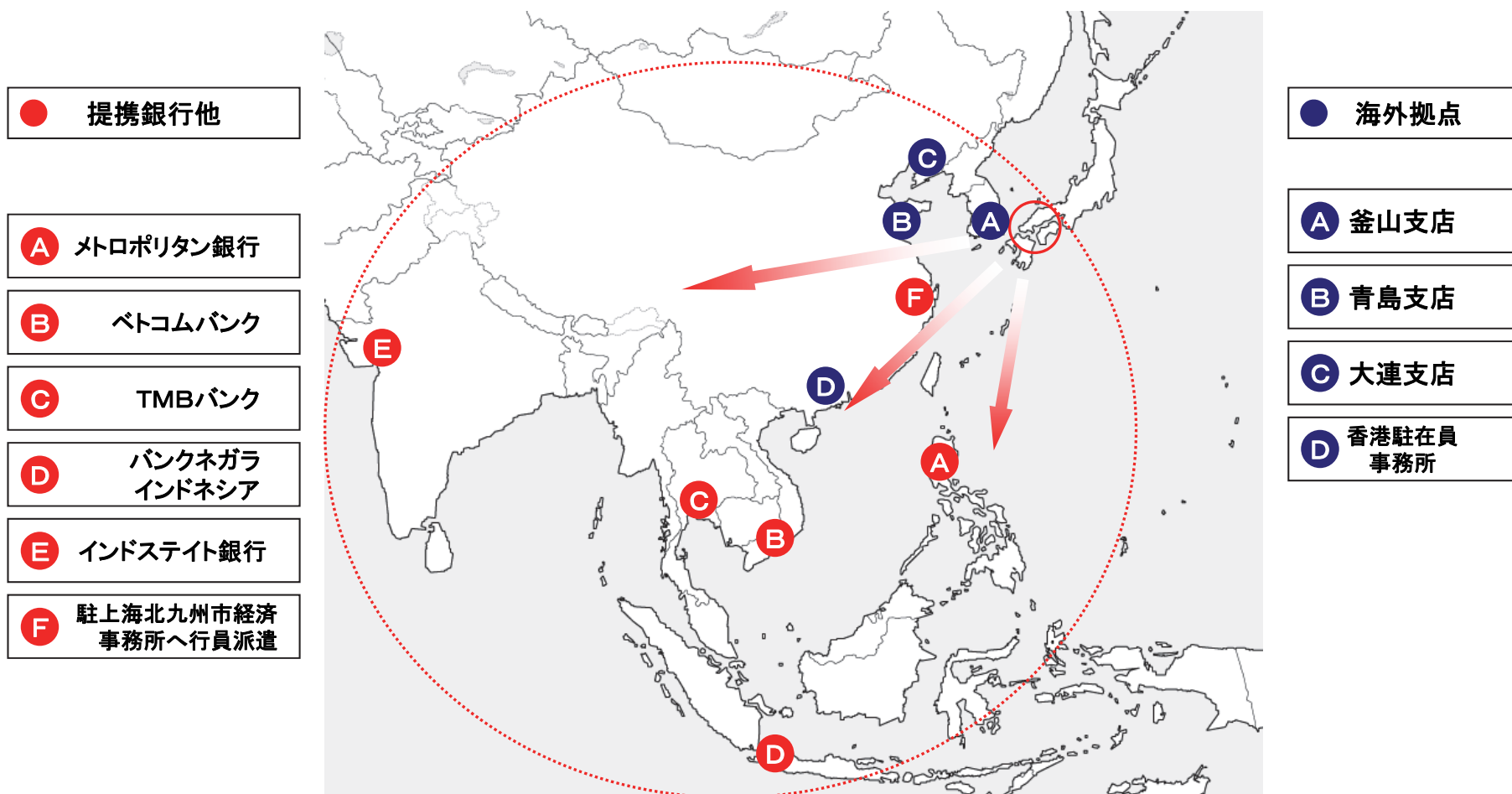
# 山口フィナンシャルグループの沿革

- ▶ 2006年10月に、山口フィナンシャルグループ設立（山口銀行・もみじHDが共同株式移転）
- ▶ 2011年10月に、北九州銀行設立（山口銀行の九州域内における事業を吸収分割方式にて承継）



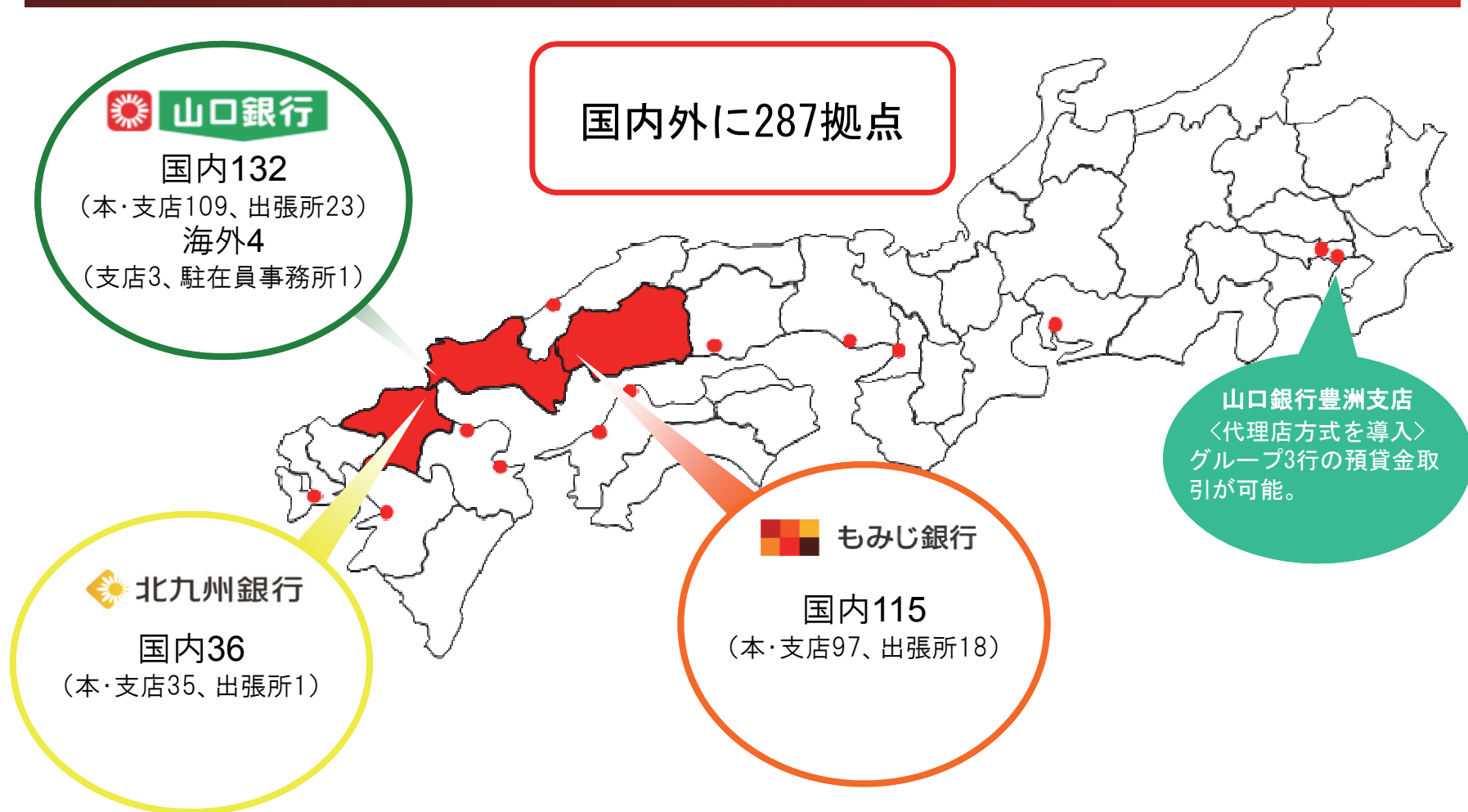
# 広域なYMFGネットワーク

- ▶ 1973年韓国釜山へ邦銀初の出店(以降、中国大連・青島へも出店)⇒アジア出店の長い歴史(40余年)
- ▶ アジアの外銀との提携戦略により、取引先のアジア進出のサポートを実践



# 国内店舗チャネル

- ▶ グループ3行で国内283拠点、海外4拠点（2016年9月末現在）
- ▶ 引き続きお客様の利便性を第一に、特に福岡県・広島県にて出店を検討。



# YMFG主要エリアの概況

## YMFG主要エリア



●総資産上位地銀地盤の主要統計(総資産は平成28年3月期にて作成)

銀行名(H28/3)	総資産 (兆円)	本店所在地	人口 (百万人)	全国比	県内総生産 (兆円)	全国比	事業所数 (千)	全国比
コンコルディアFG	17.4(1位)	神奈川県	22.6	17.8%	123.3	24.2%	1,052.2	17.8%
ふくおかFG	16.4(2位)	福岡県	8.2	6.5%	28.1	5.5%	381.6	6.4%
千葉銀行	13.3(3位)	千葉県	6.2	4.9%	19.8	3.9%	208.9	3.5%
ほくほくFG	11.6(4位)	富山県	6.4	5.0%	22.6	4.4%	308.2	5.2%
静岡銀行	11.1(5位)	静岡県	3.7	2.9%	15.8	3.1%	185.5	3.1%
山口FG	10.4(6位)	山口県	9.3	7.3%	34.8	6.8%	438.8	7.4%
常陽銀行	9.2(7位)	茨城県	2.9	2.3%	11.5	2.3%	125.8	2.1%
西日本シティ銀行	9.0(8位)	福岡県	5.1	4.0%	18.1	3.6%	232.7	3.9%
九州FG	8.9(9位)	熊本県	3.4	2.7%	10.8	2.1%	164.5	2.8%
七十七銀行	8.5(10位)	宮城県	2.3	1.8%	8.8	1.7%	106.4	1.8%
全国計			127.1		508.6		5,926.8	

※<sup>1</sup>人口・県内総生産・事業所数は東京都・神奈川県の合算

※<sup>2</sup>人口・県内総生産・事業所数は福岡県・長崎県・熊本県の合算

※<sup>3</sup>人口・県内総生産・事業所数は北海道・富山県の合算

※<sup>4</sup>人口・県内総生産・事業所数は山口県・広島県・福岡県の合算

※<sup>5</sup>人口・県内総生産・事業所数は熊本県・鹿児島県の合算

注)統計値は総務省、内閣府公表値

### 山口県

瀬戸内側に重化学・石油精製コンビナート、ソーダ等の製造を主とする工業地域が広がり、大手製造業の拠点・工場が多く立地する。かつては漁業も隆盛であったが、現在はかつての繁栄は失われつつある。

県勢としては人口減少・高齢化が進んでおり、行政としても歴史文化遺産等の活用による観光誘致や地域活性化が喫緊の課題となっている。

立地的に旧来より経済的にもアジアとの結びつきが強く、山口銀行の中国出店は当時邦銀初。

### 広島県

瀬戸内工業地帯の中核をなし、マツダを中核とする自動車産業・造船・鉄鋼業・半導体関連企業が多く立地する。牡蠣やレモン等の第一次産業、世界遺産等の観光資源、プロスポーツを活用した地域振興等も盛んなエリア。

設備投資は旺盛な状況が続いており、雇用情勢も改善が続いている。

一方で地方の抱える高齢化問題は当県でも懸念材料であり、住宅着工戸数は前年割れが続いている。

### 北九州市(福岡県)

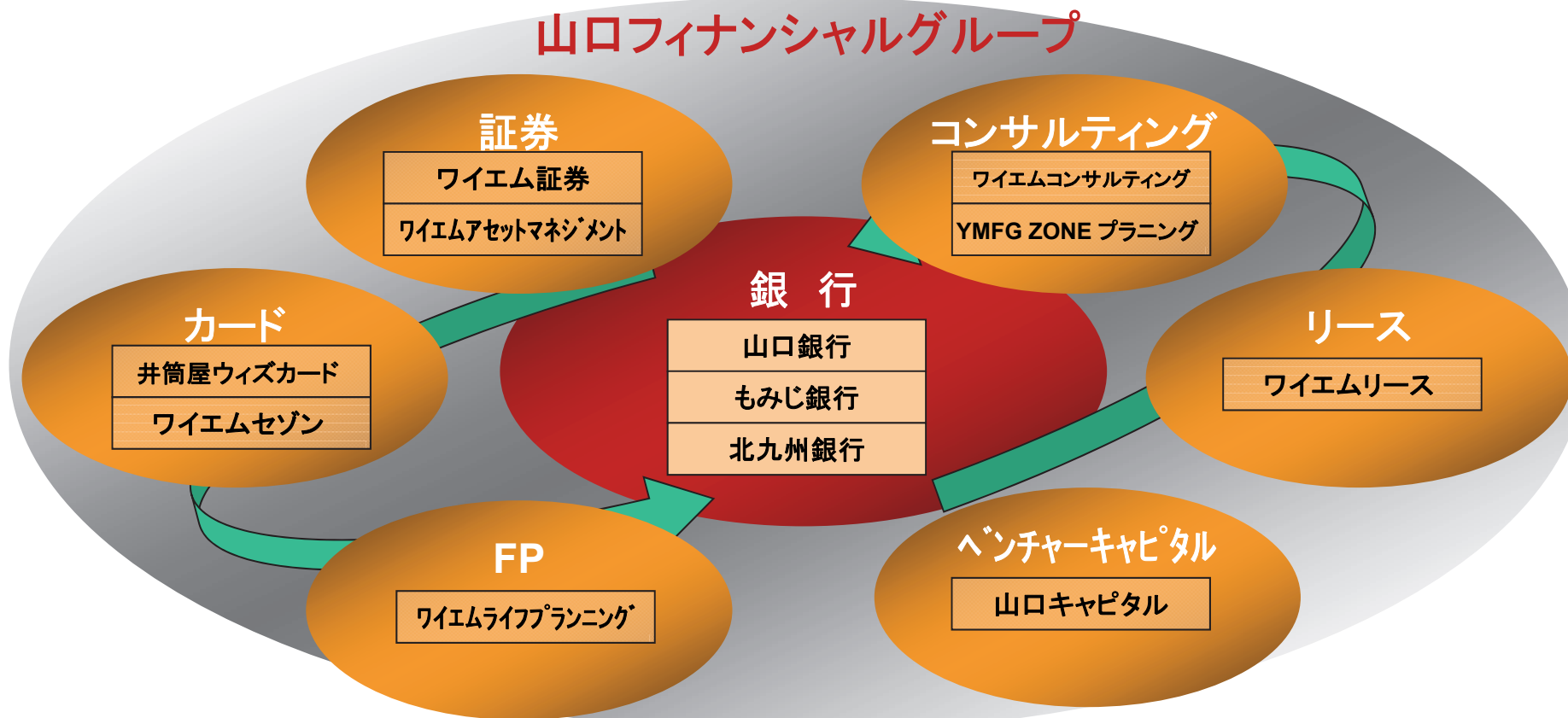
福岡市に次ぐ九州第二の人口・経済を有する。官営八幡製鉄所を契機として、鉄鋼・化学・窯業・電機などの一大工業エリアであり、自動車工場も多く立地する。発祥の大企業も多く、設備投資・輸出共に堅調な状況。

エリアとしては人口流出問題(福岡市への流出含む)に直面しており、工業以外の産業の基幹産業化が課題(食品業は有力候補)。

地理的に山口県とりわけ下関市との結びつきが強い。

# 主要グループ会社および事業セグメント

山口フィナンシャルグループは金融コングロマリット化を進め、各事業の専門性を強化



各事業が融合・連携しながら総合サービスを提供

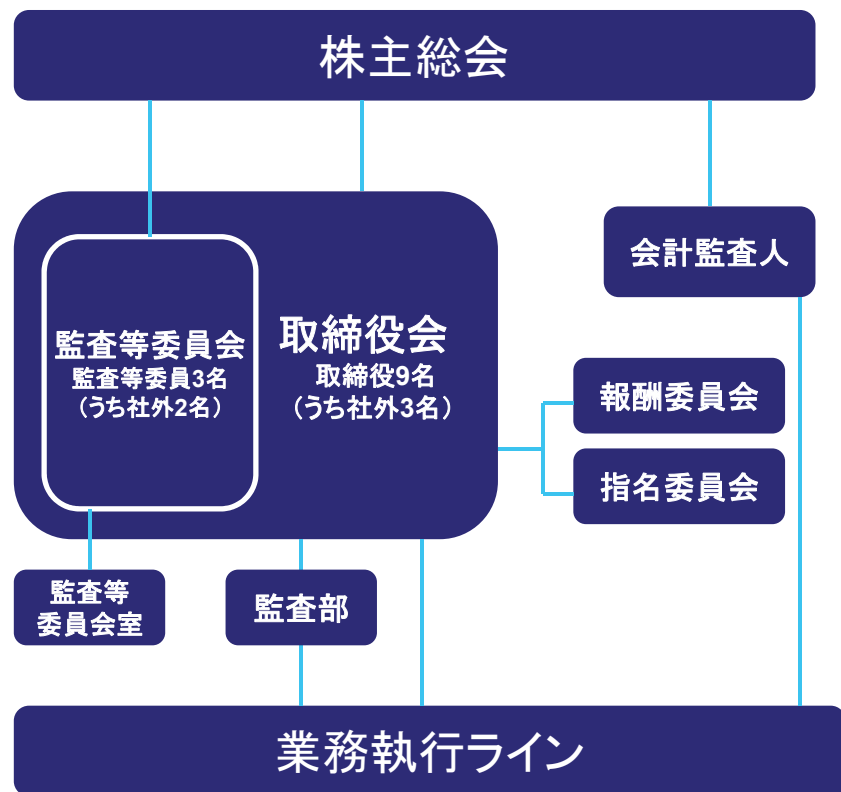
コンサルティング・ファースト

Yamaguchi Financial Group

# ガバナンス体制およびIR活動

あらゆるステークホルダーを重視し、ガバナンス強化およびIR活動を実践しています。

## コーポレートガバナンス体制



## 国内外におけるIR活動の実践

### 国内機関投資家様向けIR活動

- 年2回のラージプレゼンテーション
- ワンオンワンミーティング（年間数十社）
- 個別投資家様からのヒアリング・ミーティング

### 個人投資家様向けIR

- 東京にて平成28年9月に実施

### 海外機関投資家様向けIR活動

時期	場所
AUG.2013	Singapore
SEP.2014	London,Edinbrgh,Geneba,Zurich
SEP.2015	Tokyo
NOV.2015	London,Edinbrgh

…引き続き海外および国内における海外機関投資家向けIRを検討。



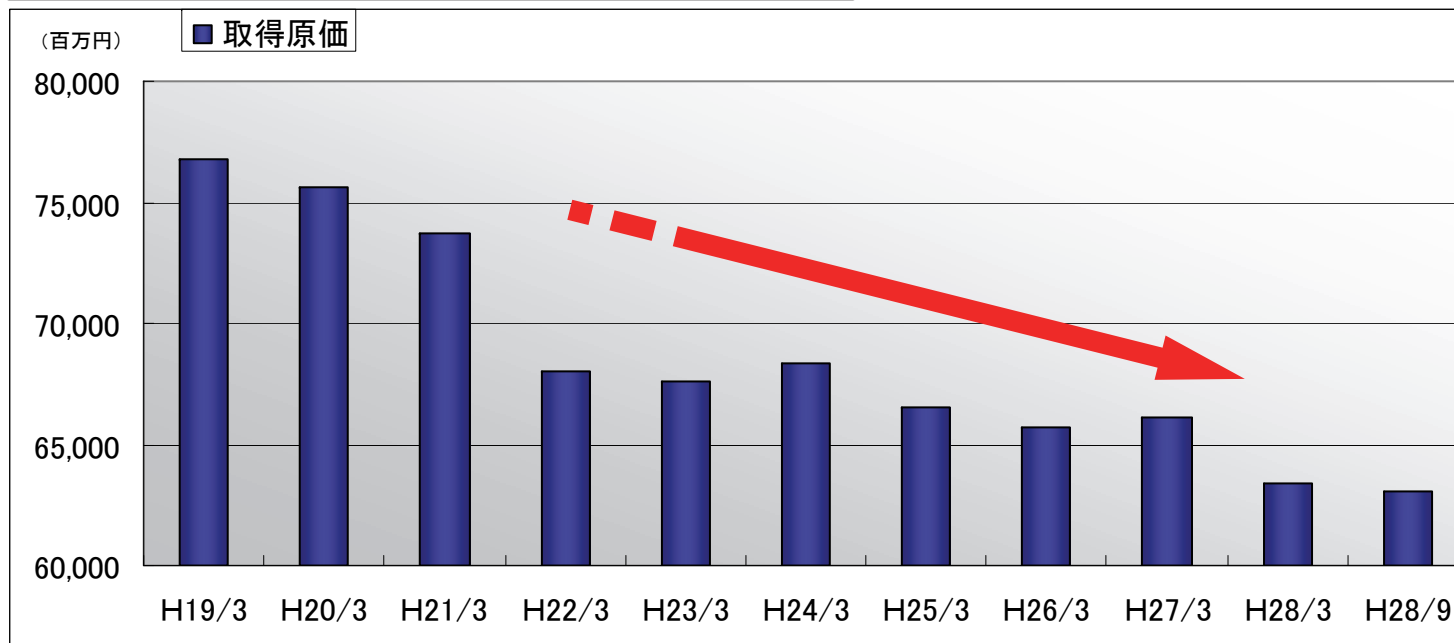
# 政策投資株式について

## 政策保有に関する方針(原則1-4)

当社は以下の方針に基づき、上場株式の政策保有を決定しております。

- ・政策投資株式については、当社グループ及び政策投資先双方の中長期的な企業価値の向上に資するか否かといった観点などから総合的に保有の是非を判断し、保有の合理性が認められる場合を除いて保有しません。
- ・保有する政策投資株式および政策投資先との取引のリスクとリターンを定期的に検証し、当該政策投資先との取引関係なども含めた総合的な見地から政策保有の是非を判断します。

## 政策投資株式の残高推移(取得原価(簿価))



# 債務者区分の遷移状況(平成28年3月末⇒平成28年9月末)

(1) 山口銀行

			28年9月末						(億円)	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	
				その他	要管理先					
28年3月末	正常先	25,921	25,382	383	0	-	-	-	154	
	要注意先	その他	4,069	947	2,888	3	2	1	1	224
		要管理先	103	0	17	73	1	0	-	10
	破綻懸念先	252	-	12	-	227	8	0	2	
	実質破綻先	89	-	-	-	-	80	6	2	
	破綻先	61	-	0	-	-	-	58	2	

ランクダウン 411億円

ランクアップ 977億円

(2) もみじ銀行

			28年9月末						(億円)	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	
				その他	要管理先					
28年3月末	正常先	12,809	12,342	279	0	0	0	0	187	
	要注意先	その他	3,096	369	2,609	4	40	3	1	66
		要管理先	17	-	2	10	0	0	-	4
	破綻懸念先	137	0	3	-	120	10	-	3	
	実質破綻先	94	-	-	-	-	93	0	0	
	破綻先	60	-	-	-	-	-	59	0	

ランクダウン 340億円

ランクアップ 375億円

(3) 北九州銀行

			28年9月末						(億円)	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	
				その他	要管理先					
28年3月末	正常先	5,717	5,510	149	-	0	0	-	55	
	要注意先	その他	2,796	484	2,276	9	1	1	-	22
		要管理先	24	-	15	7	-	-	-	1
	破綻懸念先	80	-	3	-	64	3	-	8	
	実質破綻先	24	-	-	-	-	23	0	1	
	破綻先	54	-	-	-	-	-	50	4	

ランクダウン 166億円

ランクアップ 503億円

## 債務者区分の遷移状況(平成27年9月末⇒平成28年9月末)

(1) 山口銀行

			28年9月末						(億円)	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	
				その他	要管理先					
27年9月末	正常先		26,123	25,307	524	1	0	-	289	
	要注意先	その他	3,604	746	2,712	7	6	2	1	126
		要管理先	99	0	11	68	6	0	-	11
	破綻懸念先		284	-	33	-	224	10	9	6
	実質破綻先		85	-	-	-	-	80	2	2
	破綻先		71	-	0	-	-	-	59	10

ランクダウン 574億円

ランクアップ 792億円

(2) もみじ銀行

			28年9月末						(億円)	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	
				その他	要管理先					
27年9月末	正常先		12,912	11,841	366	0	0	0	703	
	要注意先	その他	3,161	555	2,369	5	135	5	2	87
		要管理先	27	-	2	10	2	5	-	6
	破綻懸念先		131	0	7	-	111	4	0	6
	実質破綻先		96	-	-	-	-	92	1	2
	破綻先		64	-	-	-	-	-	59	4

ランクダウン 531億円

ランクアップ 565億円

(3) 北九州銀行

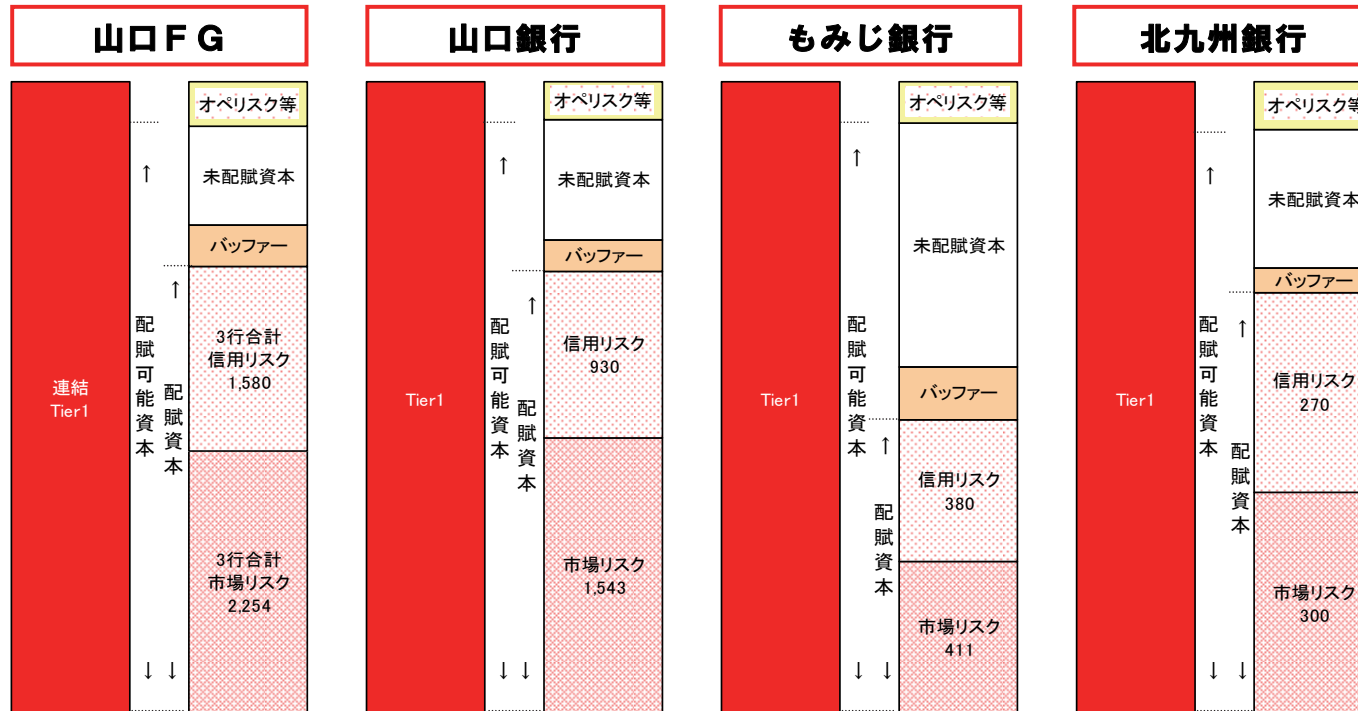
			28年9月末						(億円)	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	
				その他	要管理先					
27年9月末	正常先		5,437	5,106	251	-	0	0	79	
	要注意先	その他	2,644	582	1,964	10	5	1	0	79
		要管理先	24	-	12	6	0	0	-	4
	破綻懸念先		78	-	3	-	60	4	-	9
	実質破綻先		23	-	-	-	-	22	0	0
	破綻先		68	-	-	-	-	-	50	18

ランクダウン 276億円

ランクアップ 598億円

# リスク資本配賦

(単位:億円)



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('16/9末)	580	257	163	1,000
	資本配賦額	930	380	270	1,580
	使用率	62.4%	67.6%	60.4%	
市場リスク	リスク量('16/9末)	842	258	162	1,262
	資本配賦額	1,543	411	300	2,254
	使用率	54.6%	62.8%	54.0%	

・FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦する。

・Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1  
(グループ全体を統一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)

・バッファー : 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

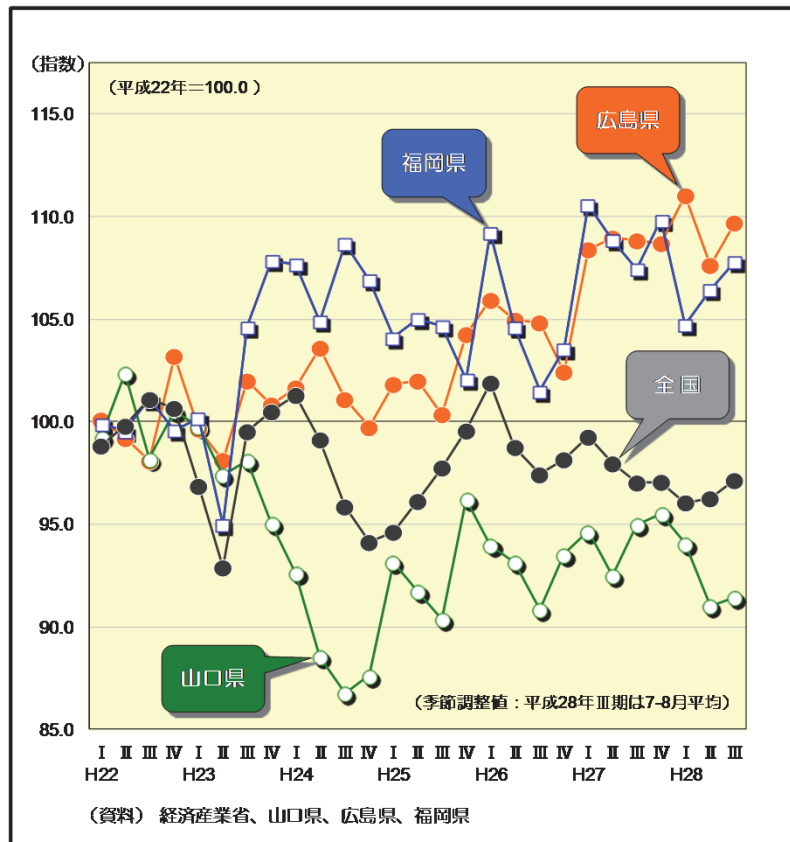
# 地区別経済概況

	北九州市 ～北九州地区の経済は 緩やかに回復している～	山口県 ～景気は緩やかに回復している～	広島県 ～景気は緩やかに回復している～
生産	海外向け自動車を中心に増加している。	自動車の生産が足元で持ち直し、化学や窯業・土石等の主要品目の稼働率が高めを維持するなど、生産活動全体で見ると底堅く推移している。	自動車が高操業を維持し、鉄鋼が高めの生産水準となっている一方、造船や電気機械の一部で弱めの動きがみられるなど、全体では横這い圏内で推移している。
設備投資	非製造業を中心に、幾分弱含んでいる。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2016年度の設備投資額(計画)は、前年度に比べ製造業が11.0%増加、非製造業が24.5%減少し、全体では7.5%の減少となっている。	平成28年度の設備投資計画額(山口経済研究所調べ)は、大手化学や自動車メーカー等において能力増強投資等が実施され、全体でも前年度比4.6%増加と2年ぶりに前年度を上回る計画となっている。	平成28年度の設備投資計画額(日銀広島支店調べ)は、大企業・製造業の投資額が大幅に増加することを主因に、全体でも同10.4%増加と4年連続で前年度を上回る計画となっている。
輸出	足もと前年を下回っている。2016年上期の北九州港の輸出額は、前年同期比で18.0%減少した。	今年7-9月期の輸出額は前年同期比13.0%減少と4四半期連続の前年割れとなった。徳山港のアジア向け有機化合物や鉄鋼、防府港の米国や西欧向けを中心とする自動車等が減少している。	鉄鋼の輸出が前年割れを続けるなど、全体でも弱めの動きとなっている。
個人消費	天候要因を背景に秋物商材が低調に推移するなど、持ち直しの動きが足踏みしている。	百貨店・スーパー販売では衣料品販売の不振が続いているものの、今年7-9月期に乗用車新車販売台数が前年を上回るなど、一部に明るさがみられる。	百貨店販売額がセール効果で下支えされているほか、乗用車新車販売台数は普通車や小型車が持ち直しており、家電量販店販売額も比較的好調に推移するなど、全体でも底堅い推移となっている。
公共工事	下げ止まっている。2016年7月～9月期の公共工事請負額は前年同期比で4.0%増加した。	平成28年度累計(4-9月)の公共工事請負金額は、前年同期比4.4%減少となっている。県からの発注が増加した一方、前年に岩国飛行場関連の大型工事が集中した反動もあって、国からの発注が減少したほか、市町も減少を続けた。	平成28年度累計(4-9月)の公共工事請負金額は、前年同期比9.7%減少と減少傾向が続いている。
住宅建築	堅調に推移している。2016年度上期の北九州市の新設住宅着工戸数は前年同期比で2.4%増加した。	今年7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年同期比20.5%増加となった。分譲マンションの着工が落ち込んでいるものの、持家の着工が前年を1割超上回り、貸家の着工も4年ぶりの高水準となった。	今年7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年同期比23.1%増加と4四半期連続で前年を上回った。持家、貸家、分譲がいずれも前年を上回る水準で、緩やかな増加傾向となっている。
雇用情勢	引き続き改善しており、2016年9月の有効求人倍率は1.27倍となっている。	今年7-9月期の有効求人倍率は1.40倍と24年ぶりの1.4倍台となったほか、実質賃金が前年を上回る水準で推移するなど、全体でも改善傾向となっている。	今年7-9月期の有効求人倍率は1.65倍で平成4年1-3月期以来24年ぶりの高水準となったほか、現金給与総額(事業所規模30人以上)も前年を上回る水準で推移するなど、全体でも改善傾向にある。
企業倒産	2016年度上期の企業倒産(負債総額100万円以上)は、件数、負債額ともに前年同期を下回った。	平成28年度累計(4-9月)の倒産件数、負債総額がいずれも前年を上回った。負債額10億円以上の大型倒産が1件発生したものの、件数は過去10年間で昨年に次ぐ低水準となっている。	平成28年度累計(4-9月)の倒産件数、負債総額とも前年を下回った。件数、負債総額ともに過去10年間で最も少なく、倒産は沈静化した状況が続いている。

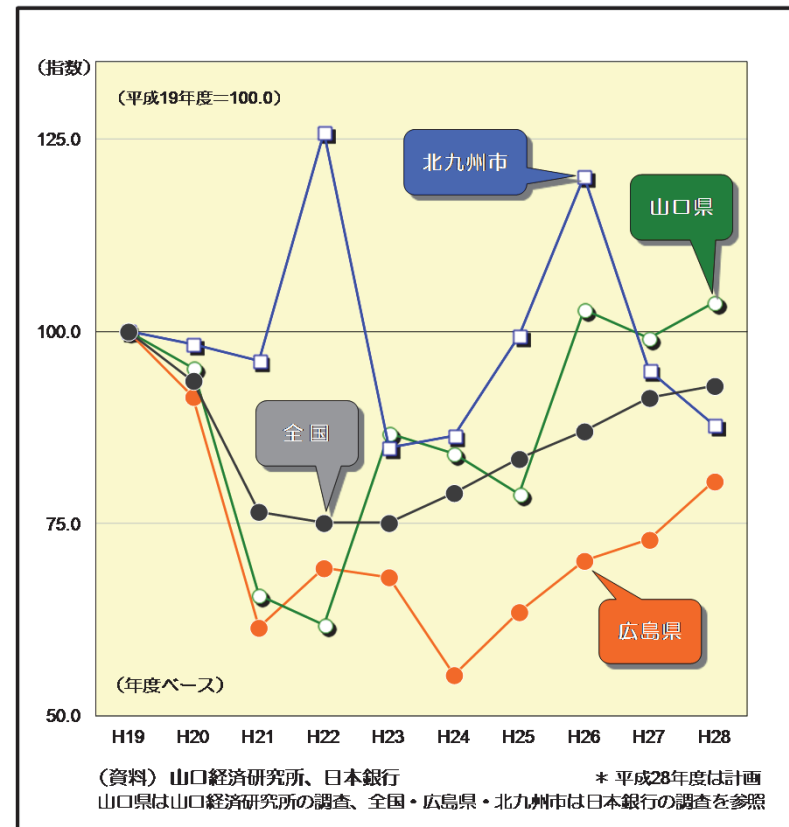
# 地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)

- ◆ 鉱工業生産指数: 自動車の生産が高稼働となるなど、全体でも堅調に推移
- ◆ 設備投資計画額(平成28年度): 山口県(前年度比+4.6%)が2年ぶりのプラス、広島県(同+10.4%)も4年連続のプラス。一方、北九州市(同▲7.5%)は2年連続のマイナス。

## 鉱工業生産指数の推移



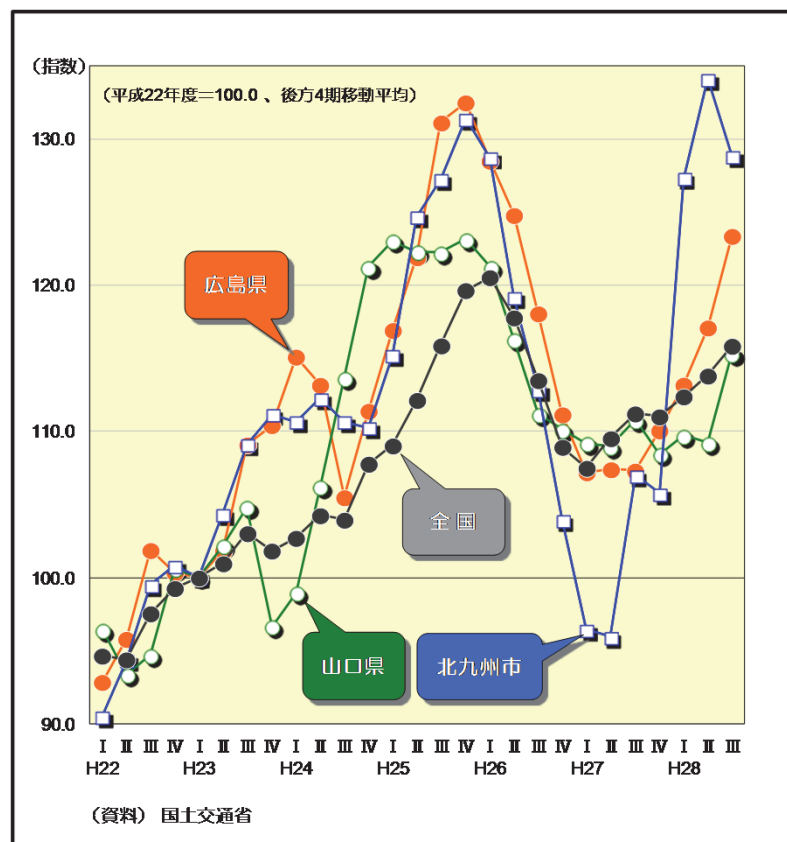
## 設備投資額の推移



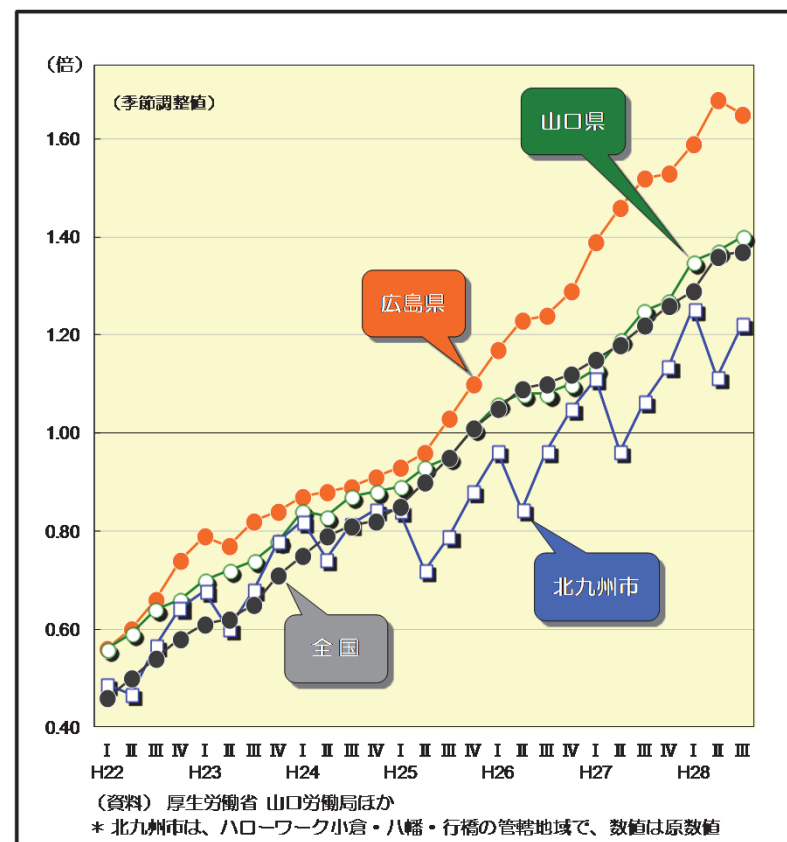
# 地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)

- ◆住宅着工戸数: 持ち直しの動き
- ◆雇用情勢: 有効求人倍率が1倍を大きく上回る水準で推移するなど、引き続き改善傾向

## 新設住宅着工戸数の推移

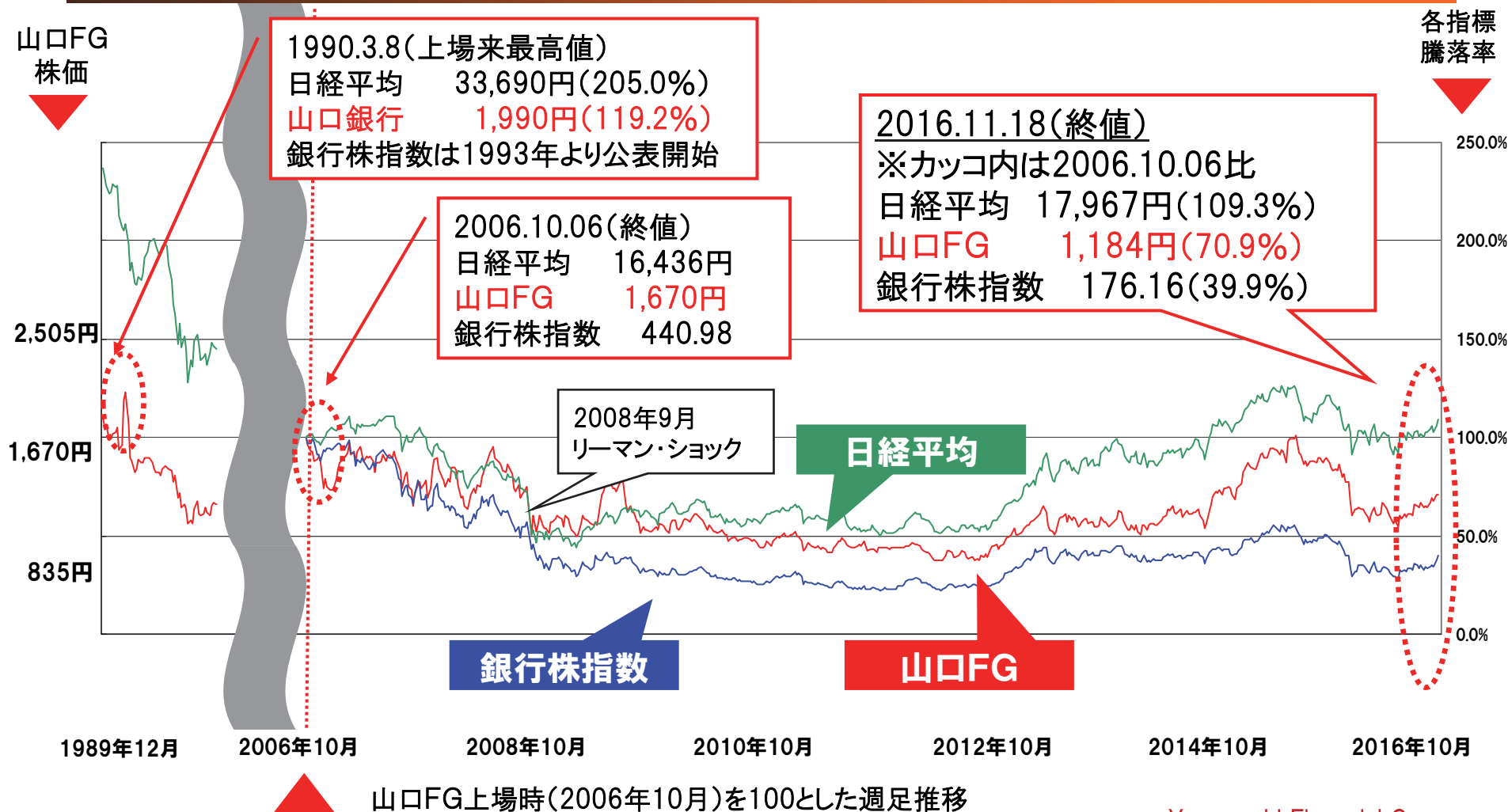


## 有効求人倍率の推移



# 株価推移

- 2006年10月に上場して以降、2007年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- 平成28年11月18日時点の山口FG株価は1,184円(山口FG上場時比70.9%)。





## 業績推移(1)FG連結・3行合算

### FG連結

(億円)

	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	622	1,185	579	1,138	555	1,148	542	1,035	498	△ 43
コア業務純益	182	319	150	286	130	314	148	251	99	△ 48
経常利益	191	438	253	498	210	473	259	497	251	△ 8
当期利益	122	272	158	312	134	305	174	322	169	△ 4
ROE	5.18%	5.52%	6.11%	6.04%	5.06%	5.61%	6.09%	5.62%	5.81%	△0.28%
総資産	90,830	93,272	93,143	96,350	97,383	101,951	100,329	104,380	101,666	1,336
BIS比率	12.90%	13.34%	12.62%	12.69%	13.21%	13.43%	12.94%	13.37%	13.52%	0.58%

### 3行合算

(億円)

	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	599	1,128	544	1,073	527	1,087	518	976	463	△ 55
資金利益	478	945	477	949	473	974	478	925	436	△ 42
役務取引等利益	46	104	63	123	60	125	62	118	57	△ 4
経費	402	786	385	768	383	750	350	692	354	3
人件費	180	359	174	346	166	329	162	323	164	2
物件費	199	389	191	385	194	380	164	326	163	△ 1
コア業務純益	196	341	158	304	143	336	168	283	109	△ 59
経常利益	200	457	250	500	225	497	282	533	262	△ 20
当期利益	137	304	163	330	155	321	204	370	183	△ 20
与信関係費用	9	1	△ 38	△ 69	△ 27	△ 41	△ 14	△ 35	△ 27	△ 12

※記載金額の単位未満は切捨て表示

## 業績推移(2)各行単体

各行単体		(億円)									
		24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	前年同期比
山口銀行	コア業務粗利益	284	579	291	577	289	594	276	507	241	△ 34
	資金利益	257	511	252	505	258	535	259	504	235	△ 24
	役務取引等利益	29	65	39	76	37	77	39	74	35	△ 4
	経費	204	395	192	380	189	369	166	324	168	1
	人件費	89	176	84	166	78	155	76	150	78	1
	物件費	103	201	97	196	100	195	78	154	77	△ 0
	コア業務純益	80	184	99	197	99	224	109	183	72	△ 36
	経常利益	93	265	162	306	147	313	184	347	125	△ 58
	当期利益	57	167	100	189	98	200	132	247	86	△ 45
	与信関係費用	△ 4	△ 14	△ 25	△ 47	△ 10	△ 6	0	△ 15	△ 4	△ 5
もみじ銀行	コア業務粗利益	261	441	198	386	183	382	187	356	166	△ 21
	資金利益	171	334	176	346	165	340	168	319	149	△ 19
	役務取引等利益	14	32	20	38	19	38	18	35	19	0
	経費	153	301	150	298	148	289	137	274	138	1
	人件費	70	141	68	138	67	132	63	129	64	1
	物件費	74	144	73	145	72	140	64	127	62	△ 1
	コア業務純益	107	139	48	88	34	93	50	81	28	△ 22
	経常利益	103	170	78	173	60	154	84	154	114	30
	当期利益	78	125	57	129	45	106	63	104	81	18
	与信関係費用	18	18	△ 14	△ 22	△ 10	△ 25	△ 15	△ 18	△ 9	5
北九州銀行	コア業務粗利益	53	108	53	108	54	110	55	112	55	0
	資金利益	49	99	48	97	49	98	50	102	52	1
	役務取引等利益	3	7	3	8	4	8	3	8	3	△ 0
	経費	44	89	43	89	45	91	46	93	47	0
	人件費	20	41	20	41	20	41	21	43	21	△ 0
	物件費	21	43	20	43	21	43	21	43	22	0
	コア業務純益	9	18	10	19	9	18	8	18	8	0
	経常利益	3	20	8	20	17	29	14	31	22	8
	当期利益	2	12	4	11	10	15	9	18	15	6
	与信関係費用	△ 5	△ 1	2	△ 0	△ 7	△ 9	0	△ 2	△ 12	△ 12

※記載金額の単位未満は切捨て表示

# 貸出金推移(末残)

## 山口銀行

(億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比
国内貸出金合計	31,802	32,000	32,070	32,696	32,931	34,135	34,123	34,496	34,999	876
法人貸出金	22,050	22,024	21,973	22,468	22,378	23,379	22,989	23,021	23,067	78
大企業	9,884	10,034	10,323	10,138	10,252	10,709	10,874	10,535	11,015	44
中堅企業	1,022	971	904	969	957	932	948	926	897	△ 51
中小企業等	11,143	11,018	10,745	11,360	11,168	11,737	11,167	11,559	11,155	84
地公体	4,648	4,771	4,852	4,941	5,234	5,296	5,586	5,728	6,080	494
外郭団体	190	166	146	93	61	71	38	62	31	△ 7
個人ローン	4,912	5,037	5,098	5,193	5,257	5,387	5,509	5,683	5,820	311
住宅ローン	4,154	4,287	4,376	4,491	4,576	4,723	4,863	5,017	5,162	298
その他ローン	757	750	721	701	681	664	645	665	658	12

## もみじ銀行

(億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比
国内貸出金合計	17,759	18,279	18,975	19,283	19,539	20,063	20,429	20,345	20,677	248
法人貸出金	12,130	12,154	12,406	12,152	12,154	12,358	12,366	12,126	12,280	△ 85
大企業	3,483	3,593	3,553	3,290	3,248	3,336	3,035	3,020	2,793	△ 242
中堅企業	596	582	600	611	603	643	647	608	612	△ 35
中小企業等	8,049	7,978	8,252	8,249	8,302	8,378	8,683	8,498	8,874	191
地公体	1,736	2,101	2,447	2,819	2,988	3,175	3,449	3,416	3,371	△ 78
外郭団体	70	64	69	76	60	69	61	58	61	0
個人ローン	3,822	3,958	4,051	4,235	4,335	4,460	4,551	4,743	4,964	412
住宅ローン	3,175	3,351	3,482	3,672	3,804	3,948	4,041	4,403	4,631	590
その他ローン	647	606	569	562	530	512	510	339	332	△ 178

## 北九州銀行

(億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比
国内貸出金合計	7,503	7,654	7,748	8,046	8,417	8,691	9,074	9,552	10,074	999
法人貸出金	5,967	6,003	6,014	6,227	6,356	6,455	6,624	6,930	7,286	662
大企業	726	832	825	916	933	934	933	891	952	19
中堅企業	566	552	504	500	496	495	498	533	558	59
中小企業等	4,674	4,618	4,684	4,810	4,926	5,026	5,191	5,506	5,775	583
地公体	400	389	388	378	559	659	810	898	978	168
外郭団体	29	55	74	89	83	59	53	50	37	△ 16
個人ローン	1,106	1,206	1,271	1,350	1,418	1,516	1,586	1,672	1,771	184
住宅ローン	878	956	1,006	1,069	1,129	1,207	1,269	1,342	1,428	159
その他ローン	228	249	264	281	289	308	317	330	343	25

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

Yamaguchi Financial Group

## 預金推移(末残)

### 山口銀行

(億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比	
預金	48,663	49,121	48,861	51,281	51,655	54,467	52,647	55,610	53,073	425	
内容別	一般	42,460	42,935	42,760	44,174	44,866	46,740	45,597	46,792	45,910	312
	うち個人	29,732	30,207	30,476	30,624	31,052	31,460	31,823	32,026	32,140	317
	うち法人	12,728	12,728	12,284	13,550	13,813	15,280	13,773	14,766	13,769	△ 4
	公金	2,673	2,594	2,830	2,801	2,913	2,769	2,969	2,717	3,025	55
	金融	3,529	3,591	3,270	4,305	3,875	4,957	4,080	6,100	4,137	57
商品別	邦貨定期性預金	27,796	27,034	27,309	28,063	28,958	30,022	29,460	31,091	28,211	△ 1,248
	邦貨流動性預金	20,648	21,849	21,327	22,719	22,223	23,533	22,978	24,318	24,547	1,568
	外貨預金	218	236	224	497	472	911	209	201	314	105

### もみじ銀行

(億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比	
預金	27,135	28,172	27,949	28,452	28,112	29,455	29,150	29,806	29,204	53	
内容別	一般	25,531	26,270	26,348	26,513	26,518	27,237	27,233	27,423	27,292	59
	うち個人	19,463	19,620	19,791	19,835	20,022	20,324	20,431	20,449	20,610	179
	うち法人	6,067	6,650	6,556	6,677	6,495	6,912	6,802	6,973	6,682	△ 119
	公金	987	1,173	895	1,147	834	1,469	1,156	1,626	1,163	7
	金融	616	727	705	792	759	749	761	757	747	△ 13
商品別	邦貨定期性預金	15,731	16,536	15,900	16,081	15,529	16,493	15,978	16,230	15,441	△ 537
	邦貨流動性預金	11,314	11,548	11,981	12,314	12,519	12,897	13,107	13,496	13,678	571
	外貨預金	90	87	66	56	63	64	64	79	84	19

### 北九州銀行

(億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比	
預金	7,118	7,269	7,766	8,298	8,616	8,948	9,449	9,774	10,307	857	
内容別	一般	6,652	6,960	7,240	7,793	8,084	8,452	8,581	9,006	9,239	657
	うち個人	3,764	4,192	4,363	4,517	4,692	4,895	4,976	5,051	5,157	180
	うち法人	2,887	2,768	2,876	3,276	3,392	3,556	3,605	3,955	4,082	477
	公金	419	254	463	277	432	267	647	385	575	△ 71
	金融	46	55	61	227	98	228	220	382	492	271
商品別	邦貨定期性預金	4,183	4,398	4,826	4,972	5,240	5,322	5,873	5,961	6,393	519
	邦貨流動性預金	2,800	2,751	2,842	3,242	3,310	3,547	3,506	3,752	3,859	352
	外貨預金	133	119	96	82	65	78	69	60	55	△ 14

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

※NCD含む

## 資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

### 山口銀行

(億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比
資金運用勘定計	48,234	48,589	50,390	51,041	52,804	53,425	55,682	55,389	55,922	240
貸出金	30,445	30,803	31,707	32,086	32,785	33,160	34,242	34,236	34,530	287
有価証券	13,416	13,591	15,077	14,864	16,072	16,047	14,894	14,636	13,385	△ 1,509
コールローン	4,142	3,927	3,158	3,175	1,793	2,019	2,703	2,602	3,870	1,167
資金調達勘定計	46,738	46,981	48,748	49,257	50,792	51,348	53,546	53,265	53,856	310
預金	42,158	42,944	45,170	45,668	46,565	46,838	48,253	47,807	48,599	346
譲渡性預金	4,808	4,168	3,327	3,209	3,488	3,745	4,763	4,918	4,488	△ 275
コールマネー	346	396	608	664	925	896	659	624	701	43

### もみじ銀行

(億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比
資金運用勘定計	27,059	27,102	27,630	28,290	28,381	28,536	29,390	29,327	29,550	160
貸出金	18,431	18,024	18,418	18,763	19,120	19,376	20,060	20,221	20,383	323
有価証券	6,941	7,310	8,427	8,109	7,050	6,992	6,962	6,903	7,460	498
コールローン	1,620	1,700	724	653	441	443	503	542	143	△ 360
資金調達勘定計	26,286	26,382	27,465	27,491	27,622	27,766	28,620	28,539	28,896	276
預金	25,281	25,325	25,907	26,032	26,407	26,533	27,136	27,147	27,387	251
譲渡性預金	828	880	1,379	1,249	969	980	1,270	1,208	1,129	△ 141
コールマネー	8	9	11	12	9	10	12	17	303	292

### 北九州銀行

(億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比
資金運用勘定計	7,319	7,500	7,841	8,208	8,781	8,927	9,459	9,686	10,335	876
貸出金	7,011	7,194	7,581	7,696	8,146	8,296	8,779	9,026	9,675	896
有価証券	148	148	135	137	168	177	194	195	193	△ 1
コールローン	124	123	89	75	47	41	28	17	2	△ 26
資金調達勘定計	6,844	7,024	7,378	7,525	8,081	8,228	8,759	8,981	9,629	870
預金	6,087	6,307	6,775	6,937	7,459	7,618	8,034	8,173	8,475	440
譲渡性預金	464	415	556	560	617	602	712	763	932	220
コールマネー	288	297	42	25	1	4	0	33	211	211

※金額は単位未満を四捨五入表示。

# 利回り・利鞘推移

山口銀行		24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.177	1.164	1.103	1.090	1.070	1.093	1.019	1.000	0.919	△ 0.100
貸出金利回	ア	1.461	1.431	1.339	1.313	1.262	1.248	1.191	1.186	1.122	△ 0.069
有価証券利回		0.843	0.841	0.811	0.846	0.884	0.997	0.971	0.906	0.890	△ 0.081
コールローン利回		0.147	0.160	0.174	0.166	0.209	0.218	0.300	0.332	0.069	△ 0.231
資金調達利回	②	0.116	0.115	0.108	0.104	0.097	0.095	0.092	0.093	0.084	△ 0.008
預金利回		0.099	0.098	0.096	0.091	0.084	0.081	0.079	0.078	0.062	△ 0.017
譲渡性預金利回		0.146	0.147	0.116	0.111	0.094	0.097	0.095	0.091	0.027	△ 0.068
コールマネー利回		0.974	0.891	0.513	0.513	0.428	0.453	0.557	0.726	1.238	0.681
経費率	③	0.872	0.841	0.786	0.772	0.745	0.720	0.620	0.609	0.623	0.003
資金調達原価	(②+③)④	0.988	0.956	0.894	0.877	0.842	0.815	0.713	0.702	0.707	△ 0.006
預金等原価	イ	0.972	0.941	0.887	0.871	0.841	0.813	0.707	0.695	0.692	△ 0.015
預金等利回	ウ	0.104	0.103	0.097	0.092	0.085	0.082	0.080	0.079	0.059	△ 0.021
経費率		0.868	0.838	0.790	0.778	0.756	0.730	0.626	0.615	0.632	0.006
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.489	0.490	0.452	0.442	0.421	0.435	0.484	0.491	0.430	△ 0.054
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.357	1.328	1.242	1.221	1.177	1.166	1.111	1.107	1.063	△ 0.048
預証単純利鞘		0.739	0.738	0.714	0.754	0.799	0.915	0.891	0.827	0.831	△ 0.060
もみじ銀行		24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.351	1.317	1.357	1.305	1.237	1.261	1.203	1.150	1.072	△ 0.131
貸出金利回	ア	1.668	1.653	1.534	1.498	1.412	1.379	1.291	1.276	1.205	△ 0.086
有価証券利回		0.783	0.725	1.066	1.057	1.114	1.289	1.322	1.113	0.931	△ 0.391
コールローン利回		0.124	0.120	0.115	0.115	0.124	0.122	0.119	0.104	0.011	△ 0.108
資金調達利回	②	0.087	0.084	0.085	0.082	0.073	0.070	0.061	0.062	0.065	0.004
預金利回		0.081	0.078	0.078	0.076	0.067	0.063	0.051	0.050	0.051	0.000
譲渡性預金利回		0.148	0.139	0.114	0.118	0.116	0.115	0.099	0.095	0.039	△ 0.060
コールマネー利回		0.395	0.297	0.225	0.260	0.320	0.346	0.498	0.423	0.007	△ 0.491
経費率	③	1.167	1.144	1.091	1.084	1.071	1.042	0.955	0.963	0.955	0.000
資金調達原価	(②+③)④	1.254	1.228	1.176	1.166	1.144	1.112	1.016	1.025	1.020	0.004
預金等原価	イ	1.258	1.232	1.179	1.171	1.150	1.117	1.016	1.022	1.019	0.003
預金等利回	ウ	0.083	0.080	0.080	0.078	0.069	0.065	0.053	0.052	0.051	△ 0.002
経費率		1.175	1.152	1.098	1.093	1.080	1.052	0.962	0.969	0.968	0.006
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.410	0.421	0.355	0.327	0.262	0.262	0.275	0.254	0.186	△ 0.089
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.585	1.573	1.454	1.420	1.343	1.314	1.238	1.224	1.154	△ 0.084
預証単純利鞘		0.700	0.645	0.986	0.979	1.045	1.224	1.269	1.061	0.880	△ 0.389
北九州銀行		24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	前期比
資金運用利回	①	1.479	1.455	1.372	1.309	1.224	1.210	1.159	1.146	1.073	△ 0.086
貸出金利回	ア	1.482	1.462	1.375	1.352	1.271	1.251	1.196	1.178	1.098	△ 0.098
有価証券利回		2.193	1.960	1.987	1.996	2.004	2.000	2.066	2.141	2.174	0.108
コールローン利回		0.743	0.671	0.395	0.401	0.454	0.470	0.484	0.563	1.772	1.288
資金調達利回	②	0.139	0.139	0.138	0.130	0.117	0.111	0.102	0.100	0.074	△ 0.028
預金利回		0.136	0.137	0.136	0.128	0.114	0.108	0.096	0.094	0.077	△ 0.019
譲渡性預金利回		0.161	0.155	0.131	0.134	0.138	0.139	0.153	0.151	0.056	△ 0.097
コールマネー利回		0.115	0.116	0.119	0.123	0.435	0.194	0.098	0.047	0.005	△ 0.093
経費率	③	1.289	1.280	1.177	1.192	1.114	1.107	1.063	1.041	0.979	△ 0.084
資金調達原価	(②+③)④	1.428	1.420	1.316	1.322	1.232	1.218	1.165	1.141	1.053	△ 0.112
預金等原価	イ	1.484	1.476	1.321	1.325	1.231	1.218	1.166	1.146	1.077	△ 0.089
預金等利回	ウ	0.137	0.138	0.135	0.128	0.116	0.110	0.101	0.099	0.075	△ 0.026
経費率		1.346	1.338	1.185	1.196	1.115	1.108	1.065	1.046	1.002	△ 0.063
預貸金利鞘	(ア-イ)	△ 0.002	△ 0.014	0.054	0.027	0.040	0.033	0.030	0.032	0.021	△ 0.009
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.345	1.324	1.240	1.224	1.155	1.141	1.095	1.079	1.023	△ 0.072
預証単純利鞘		2.056	1.822	1.852	1.868	1.888	1.890	1.965	2.042	2.099	0.134

※単位未満を切捨表示。

本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本日の会社説明会に関するご照会先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 久 保

カスタマーコミュニケーション部 松 田

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>